

# 2022年度通期決算説明資料

2023年5月19日

SOMPOホールディングス株式会社

# 目次

エグゼクティブ・サマリー	3
本日のポイント①2022年度通期実績	4
本日のポイント②2023年度業績予想	5
本日のポイント③株主還元	6
<b>業績概況</b>	
連結の業績変動要因	8
国内損保事業（損保ジャパン）の業績変動要因	9
海外保険事業の業績変動要因	10
国内生保事業（ひまわり生命）の業績変動要因	11
介護・シニア事業の業績変動要因	12
（参考）修正連結利益の変動要因	13
（参考）決算数値	14
<b>事業別詳細</b>	
<b>国内損保事業（損保ジャパン）</b>	
保険引受利益	16
正味収入保険料	17
（参考）種目別正味収入保険料	18
コンバインド・レシオ	19
損害率	20
事業費率	21
資産運用損益	22
（参考）自動車保険関連の指標	23
（参考）火災保険、新種保険関連の指標	24
（参考）国内自然災害	25
（参考）資産運用損益内訳	26
（参考）資産ポートフォリオ	27
（参考）決算数値	28

<b>海外保険事業</b>	
保険引受利益	30
収入保険料	31
コンバインド・レシオ	32
資産ポートフォリオ・資産運用損益	33
（参考）海外自然災害	34
（参考）決算数値	35
（参考）業績概況	36
（参考）地域別業績概況	37

<b>国内生保事業</b>	
新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料	39
事業費	40
資産ポートフォリオ・資産運用損益	41
（参考）決算数値	42
（参考）修正純資産のコンバージョン	43
（参考）MCEV	44

<b>介護・シニア事業</b>	
売上高・営業利益率・修正利益	46
（参考）入居率・事業所数	47

<b>ERM</b>	
財務健全性：ESR（99.5%VaR）	49
（参考）実質自己資本・リスク量のブレイクダウン	50
（参考）経営数値等	51

## 為替レート（円/米ドル）

2022年度	133.53円（対前年：+9.1%）	2023年3月末
	- 海外※ 132.70円（対前年：+15.4%）	2022年12月末
2023年度業績予想	133.53円	2023年3月末

※ 海外保険事業

（略語）SIはSompoインターナショナル、SIHはSompoインターナショナル・ホールディングスを指す

## ポイント①

### 2022年度 通期実績

- ✓ トップラインは**大幅に拡大**
- ✓ ボトムラインは国内外自然災害や新型コロナ等の影響を受けたものの、これらの一過性要因を控除した**平年値ベースでは増益基調**

## ポイント②

### 2023年度 業績予想

- ✓ 事業環境の悪化を織り込みつつも、**連結純利益は2,300億円、修正連結利益は2,800億円**と、**過去最高益**を見込む
- ✓ 一過性要因の剥落に加え、**海外保険事業の保険引受利益増**や、**コングロマリット・プレミアムを含む資産運用利益増**が増益をドライブ

## ポイント③

### 株主還元

- ✓ 2022年度の総還元額は、**平年値ベースの修正利益2,250億円に基づき**、1,121億円（うち配当871億円（1株当たり260円）、自己株式取得250億円）
- ✓ 2023年度は、**10期連続増配**となる1株当たり300円（前年比+40円）の配当を予定

# 本日のポイント①2022年度通期実績

- 正味収入保険料は、SIコマースシャルの大幅な増収、損保ジャパンの火災保険がけん引し、+4,550億円増加
- 連結純利益は、自然災害や新型コロナの影響（一過性要因）を受けたものの、通期予想を上回る911億円
- 修正連結利益は1,522億円。なお、一過性要因（△730億円）控除後の平年値ベースは、+50億円増益の2,250億円

## トップラインの実績概要

## ボトムラインの実績概要

## 一過性要因の内訳

グループ	ボトムラインの実績概要	一過性要因	
グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 連結純利益は、予想を+111億円上回る911億円</li> <li>• 修正連結利益は、平年値ベースで+50億円増益</li> </ul>	△730億円	
国内損保	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災保険がけん引し、正味収入保険料は+734億円増収</li> </ul>	純利益は、予想を+228億円上回る1,075億円	△470億円
海外保険	<ul style="list-style-type: none"> <li>SIコマースシャルがけん引し、正味収入保険料は+3,815億円の大幅増収</li> </ul>	トップライン拡大効果を主因に純利益は+87億円増益、修正利益は+314億円の増益	△40億円
国内生保	<ul style="list-style-type: none"> <li>Insurhealthが好調で、新契約年換算保険料は+13億円増収</li> </ul>	コロナ影響（一過性要因）を除くと、増収効果を主因に純利益は+71億円増益、修正利益は+63億円増益	△220億円
介護・シニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>買収効果や入居率改善により、売上高は+137億円増収</li> </ul>	コスト増を増収でカバーし、純利益は前年同水準の54億円	-

**国内損保** **海外保険**

自然災害

△300億円

平年以上の自然災害影響

**国内損保** **国内生保**

新型コロナ

△340億円

みなし入院給付による支払等

**国内損保** **海外保険**

その他

△90億円

平年以上の大口事故等

# 本日のポイント②2023年度業績予想

- 2023年度の連結純利益は、今中計の布石が結実することから各事業で増益し、過去最高益となる2,300億円を見込む
- 2023年度の修正連結利益は、足元の事業環境の悪化を主因に中計目標から下振れるも、過去最高益となる2,800億円を見込む

## 各事業の業績予想ポイント

(億円)	純利益 (対前年)	修正利益 (対前年)
<b>国内 損保</b>	<b>1,811</b> (+736)	<b>800</b> (+479)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害と新型コロナ関連の一過性要因剥落</li> <li>・収益構造改革による収支改善</li> </ul>	
<b>海外 保険</b>	<b>1,514</b> (+782)	<b>1,500</b> (+566)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンバインド・レシオ改善による保険引受利益増加</li> <li>・コングロマリット・プレミアム等による資産運用利益増加</li> </ul>	
<b>国内 生保</b>	<b>153</b> (+143)	<b>400</b> (+221)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ関連の一過性要因剥落</li> </ul>	
<b>介護・ シニア</b>	<b>63</b> (+8)	<b>70</b> (+10)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買収効果や入居率改善等による売上が増益に寄与</li> </ul>	

## 連結純利益と修正連結利益の主な増減要因

	2022年度 (実績)	連結純利益 <b>911億円</b>	修正連結利益 <b>1,522億円</b>
一過性要因の剥落	<b>国内 損保</b> <b>国内 生保</b> <b>海外 保険</b>	+730億円	+730億円
海外保険事業の保険引受利益増加	<b>海外 保険</b>	+370億円	+370億円
収益構造改革	<b>国内 損保</b>	+205億円	+205億円
コングロマリット・プレミアム	<b>国内 損保</b> <b>国内 生保</b> <b>海外 保険</b>	+150億円	+150億円
海外保険事業の運用収益増加	<b>海外 保険</b>	+140億円	+140億円
異常危険準備金	<b>国内 損保</b>	+45億円	
その他 (自動車発生損増、ヘッジコスト上昇等)	<b>国内 損保</b>	△250億円	△315億円
	<b>2023年度 (予想)</b>	<b>連結純利益 2,300億円</b>	<b>修正連結利益 2,800億円</b>

※要因は概算 (税後ベース)

# 本日のポイント③株主還元

- 2022年度は平年値ベースの修正連結利益2,250億円を踏まえて、1,121億円の還元
- 2023年度も修正連結利益50%に相当する還元の方針を堅持し、利益成長にあわせて10期連続となる増配の見通し

## 2022年度の株主還元

平年値ベースの修正連結利益2,250億円を踏まえた還元



## 2023年度の株主還元のポイント

還元方針変更なし

総還元性向 修正連結利益の50%を基準

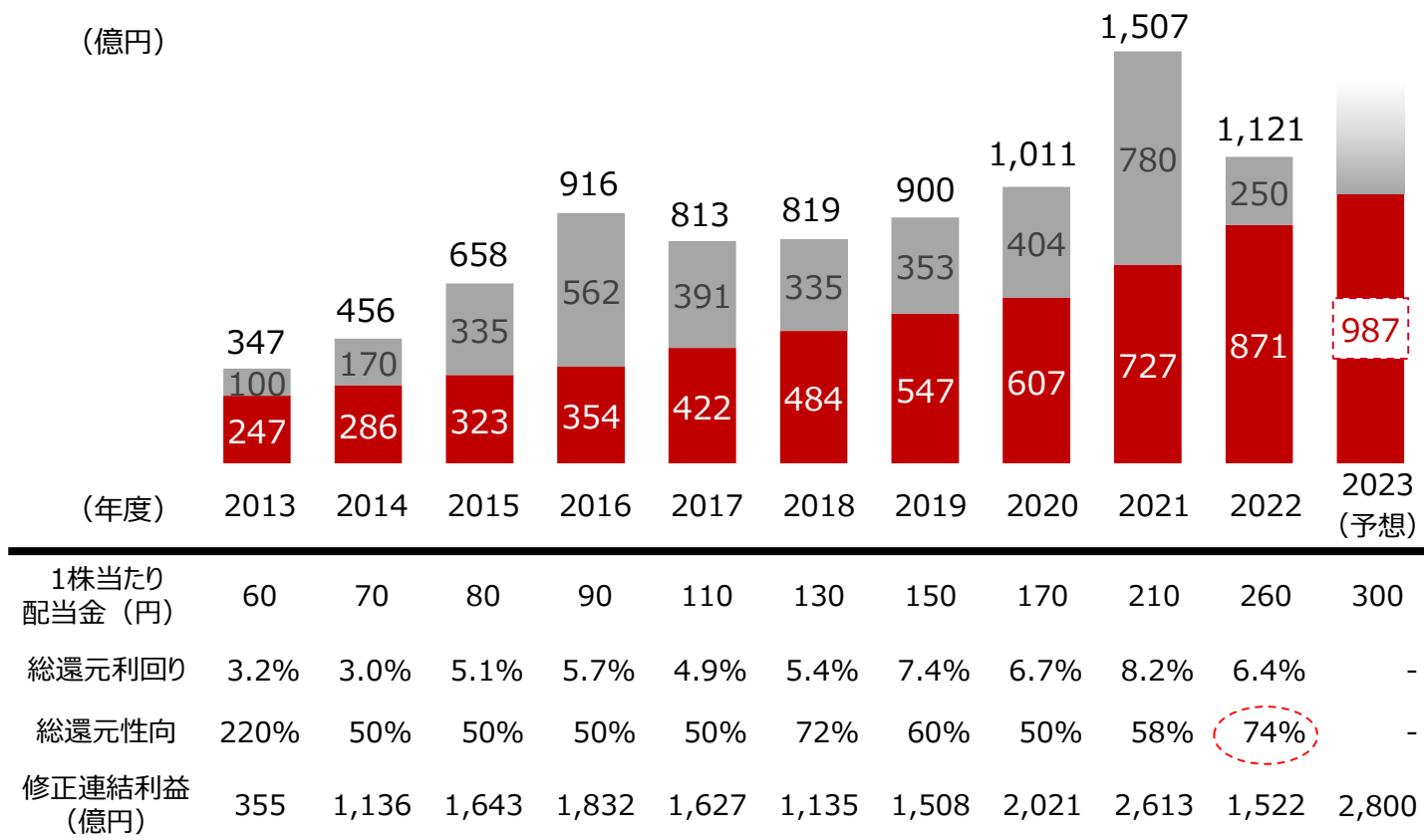
1株当たり配当金 2022年度 260円 → 2023年度(予想) 300円

配当利回り※2 : 5.7%

10期連続増配

## 株主還元ヒストリー

■ 配当 ■ 自己株式取得

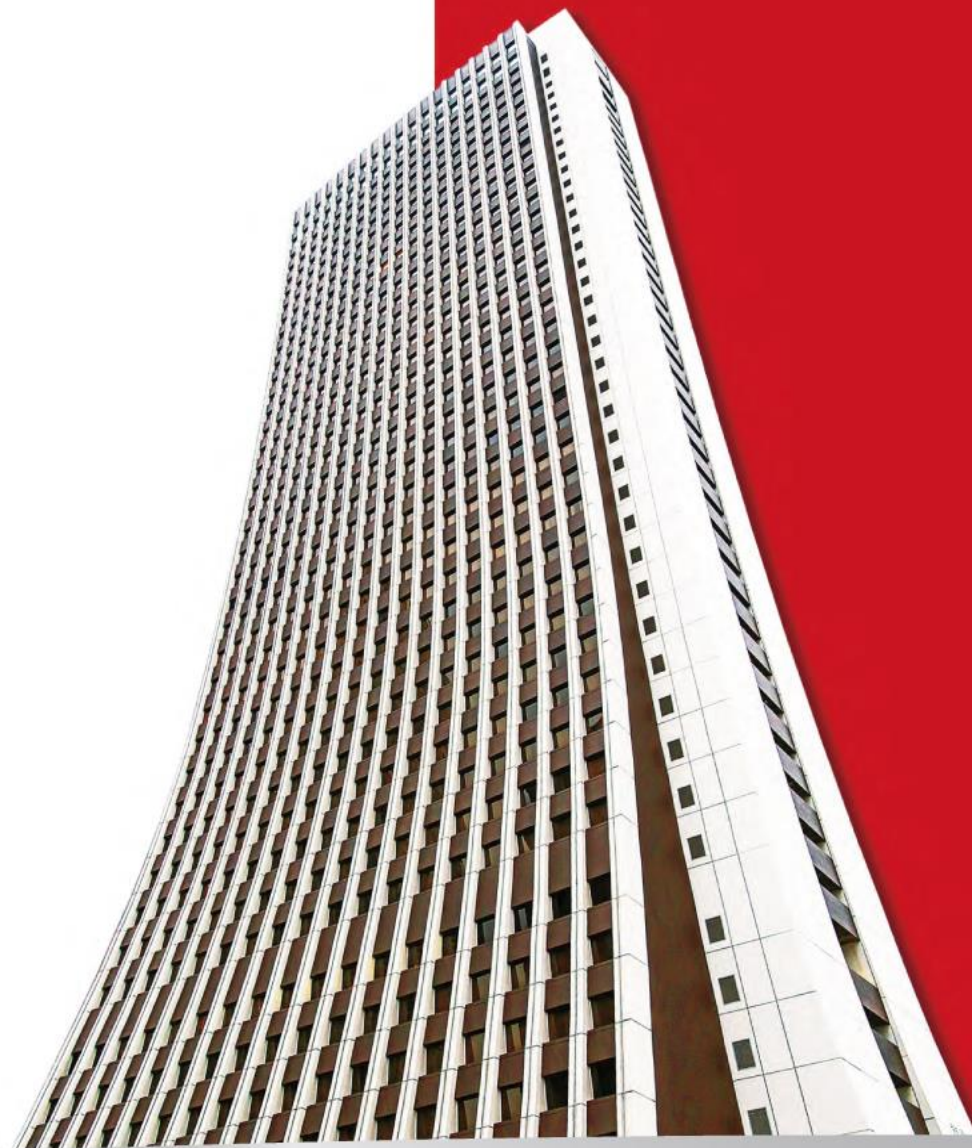


※1 基礎還元額761億円、追加還元額360億円

※2 2023年3月末の株価を前提に計算



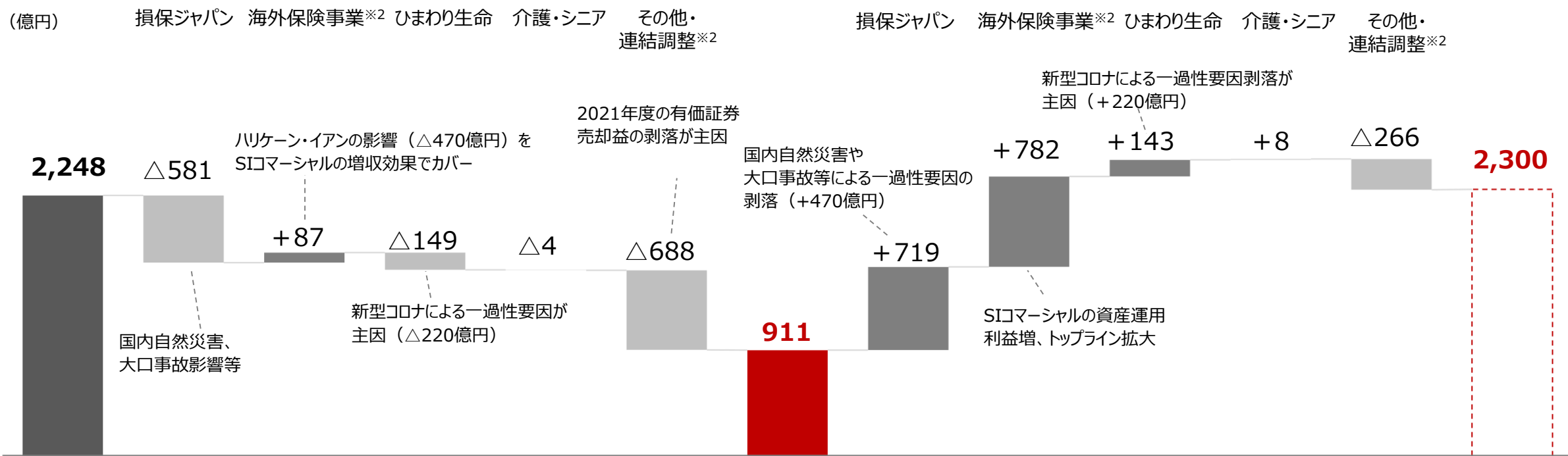
# 業績概況



# 連結の業績変動要因

- 自然災害や新型コロナ等の一過性要因の影響を受けるも、2022年度の連結純利益は通期予想を+111億円上回る911億円
- 2023年度は、一過性要因の剥落等の影響により各事業が増益、連結純利益は過去最高益となる2,300億円を見込む

## 連結純利益※1の増減要因（税後）



	損保ジャパン	海外保険事業	ひまわり生命	介護・シニア	その他・連結調整	連結純利益
2021年度	1,662億円	643億円	159億円	59億円	△275億円	2,248億円
<b>2022年度</b>	<b>1,080億円</b>	<b>731億円</b>	<b>9億円</b>	<b>54億円</b>	<b>△963億円</b>	<b>911億円</b>
<b>2023年度 (予想)</b>	<b>1,800億円</b>	<b>1,514億円</b>	<b>153億円</b>	<b>63億円</b>	<b>△1,230億円</b>	<b>2,300億円</b>

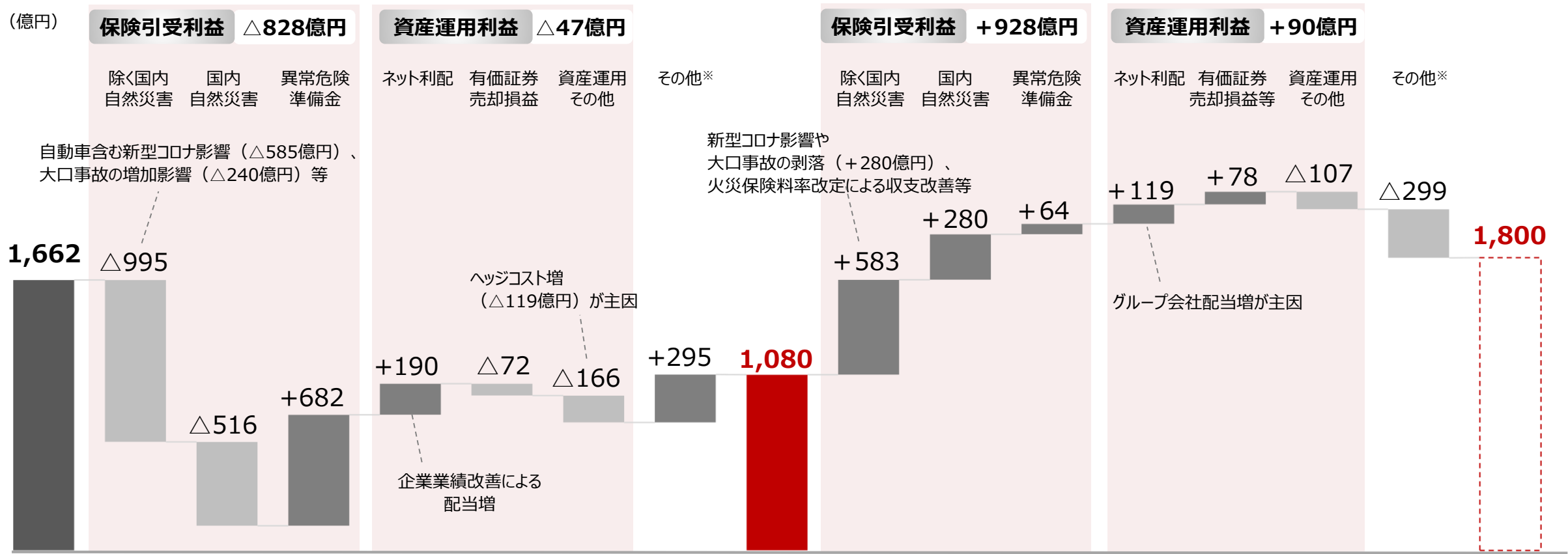
※1 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す（以下同様）  
 ※2 SIにかかる会計基準差異の修正影響を調整（P14参照）



# 国内損保事業（損保ジャパン）の業績変動要因

- 2022年度は、国内自然災害や大口事故、新型コロナといった一過性要因の影響もあり、純利益は1,080億円
- 2023年度純利益は、一過性要因剥落や火災保険の収支改善による保険引受利益増がけん引し、+719億円増益の1,800億円を見込む

## 当期純利益の増減要因



2021年度  
当期純利益

2022年度  
当期純利益

予想前提	2022年度 期初予想	2023年度 予想
自然災害	830億円	980億円
大口事故	270億円	340億円

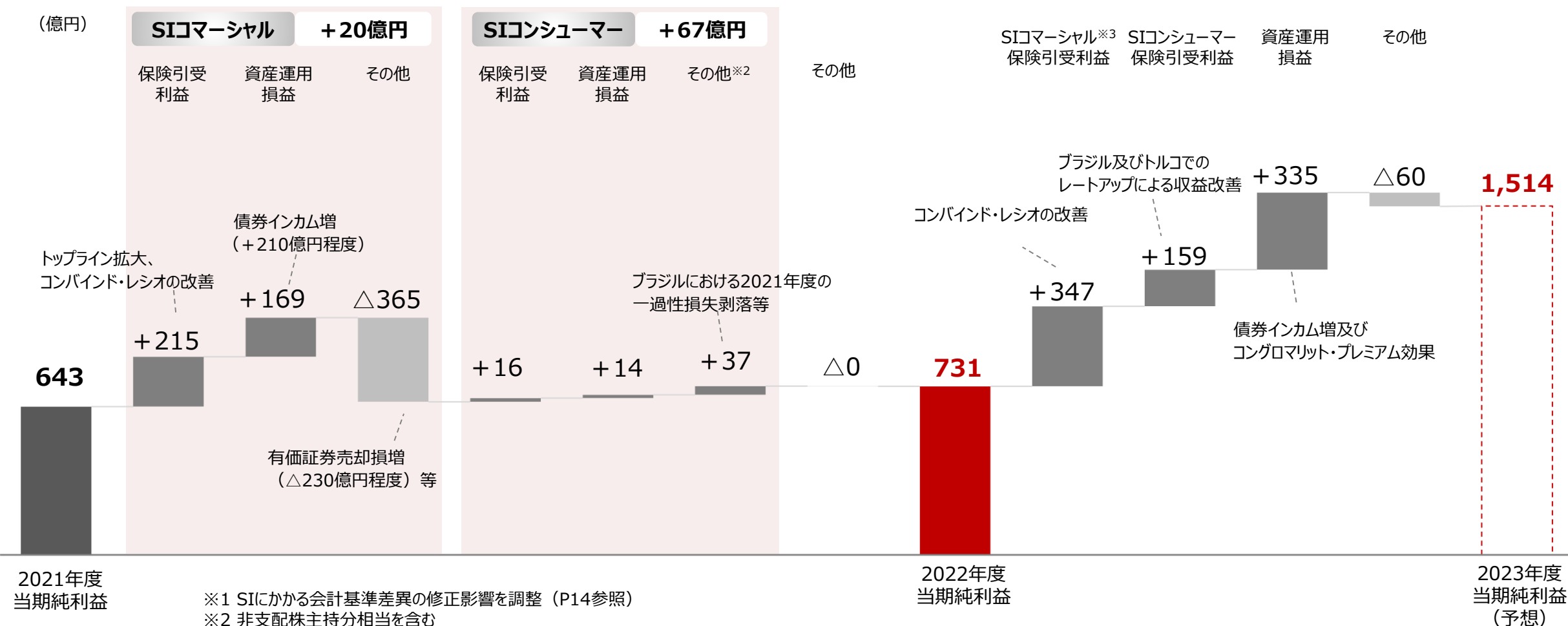
2023年度  
当期純利益  
(予想)

※ 特別損益、法人税等

# 海外保険事業の業績変動要因

- 2022年度の純利益は+87億円増益の731億円、SIコマーシャルのトップライン成長による保険引受利益増が主因
- 2023年度は、SIコマーシャルの保険引受利益と資産運用益拡大がけん引し、純利益+782億円増益の1,514億円を見込む

## 当期純利益※1の増減要因



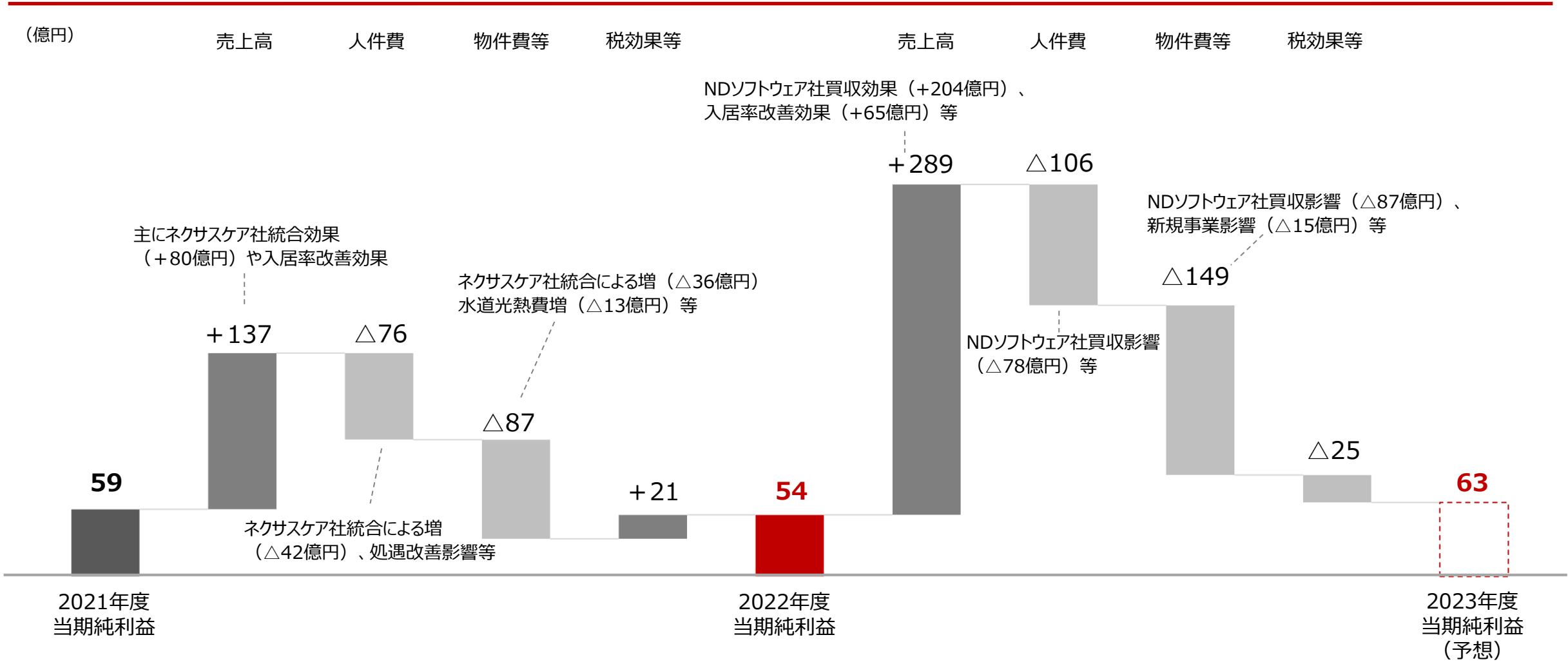
※1 SIにかかる会計基準差異の修正影響を調整 (P14参照)  
 ※2 非支配株主持分相当を含む  
 ※3 2023年度のSIコマーシャルには、Sompoシゴルタ、Sompoセグロス、アジア各社のコマーシャル事業を含む



# 介護・シニア事業の業績変動要因

- 2022年度の純利益は、水道光熱費や処遇改善等のコスト増を増収でカバーし、54億円
- 2023年度の純利益は、買収効果や入居率改善効果による増収継続によって、+8億円増益の63億円となる見込み

## 当期純利益の増減要因

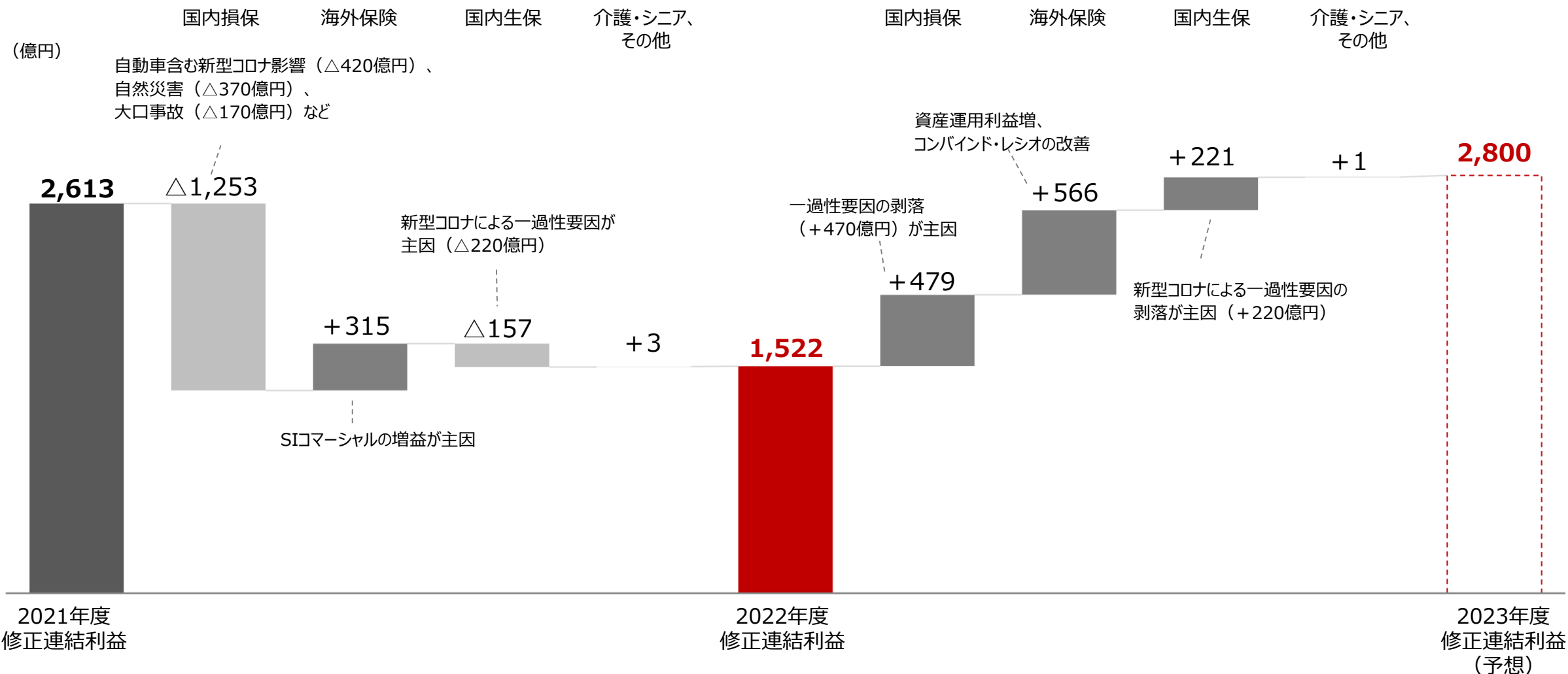


# (参考) 修正連結利益の変動要因

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 修正連結利益の増減要因 (税後)



# (参考) 決算数値

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



(単位：億円)	2021年度	2022年度		2023年度	
		実績	対前年増減	予想	対前年増減
連結経常収益	41,674	46,071	+4,396	-	-
正味収入保険料	32,157	36,707	+4,550	37,310	+602
生命保険料	3,251	3,167	△84	3,340	+172
連結経常利益	3,155	1,225	△1,929	3,220	+1,994
損保ジャパン	2,108	1,249	△858	2,250	+1,000
海外グループ会社※1	861	874	+12	1,915	+1,041
ひまわり生命	232	29	△203	229	+199
介護・シニア事業	93	79	△14	99	+20
その他・連結調整等※1※2	△140	△1,006	△865	△1,274	△267
連結純利益	2,248	911	△1,336	2,300	+1,388
損保ジャパン	1,662	1,080	△581	1,800	+719
海外グループ会社※1	643	731	+87	1,514	+782
ひまわり生命	159	9	△149	153	+143
介護・シニア事業	59	54	△4	63	+8
その他・連結調整等※1※2	△275	△963	△688	△1,230	△266
(参考) 修正連結利益	2,613	1,522	△1,091	2,800	+1,277
国内損保事業	1,574	320	△1,253	800	+479
海外保険事業	618	933	+315	1,500	+566
国内生保事業	336	178	△157	400	+221
介護・シニア事業	59	59	△0	70	+10
デジタル事業等	24	30	+5	20	△10

※1 SIにかかる会計基準差異の修正影響を調整

(単位：億円)	2021年度	2022年度
税前	301	1,535
税後	255	1,282

※2 のれんの償却（2022年度：266億円、2023年度：300億円）、  
 パーチェス修正（2022年度：税前39億円、税後28億円、  
 2023年度：税前50億円、税後36億円）等を含む



# 事業別詳細

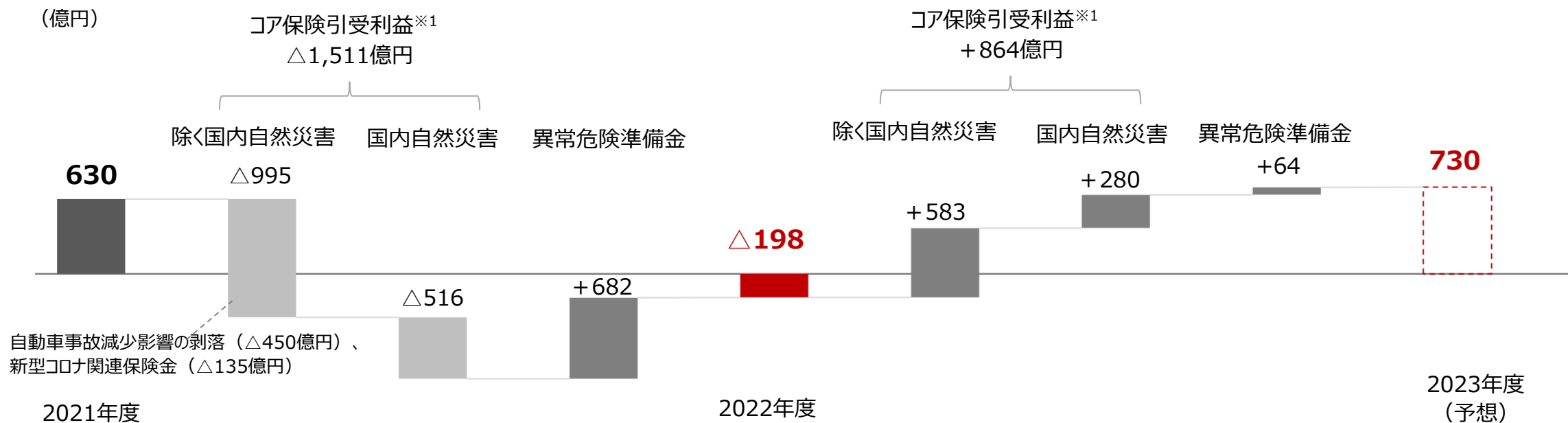
タイトル	ページ
<b>国内損保事業（損保ジャパン）</b>	<b>15</b>
海外保険事業	29
国内生保事業	38
介護・シニア事業	45
ERM	48



# 保険引受利益（損保ジャパン）

- 自然災害に加え、新型コロナ影響を主因に、2022年度の保険引受利益は△198億円
- 自然災害影響等の一過性要因が剥落することにより、2023年度の保険引受利益は+928億円増益の730億円を見込む

## 保険引受利益の増減要因



	コア保険引受利益※1			異常危険準備金	保険引受利益
		(除く国内自然災害)	(国内自然災害)		
2021年度	1,202億円	1,946億円	△744億円	△571億円	630億円
2022年度	△309億円	951億円	△1,260億円	110億円※2	△198億円
2023年度 (予想)	554億円	1,534億円	△980億円	175億円	730億円

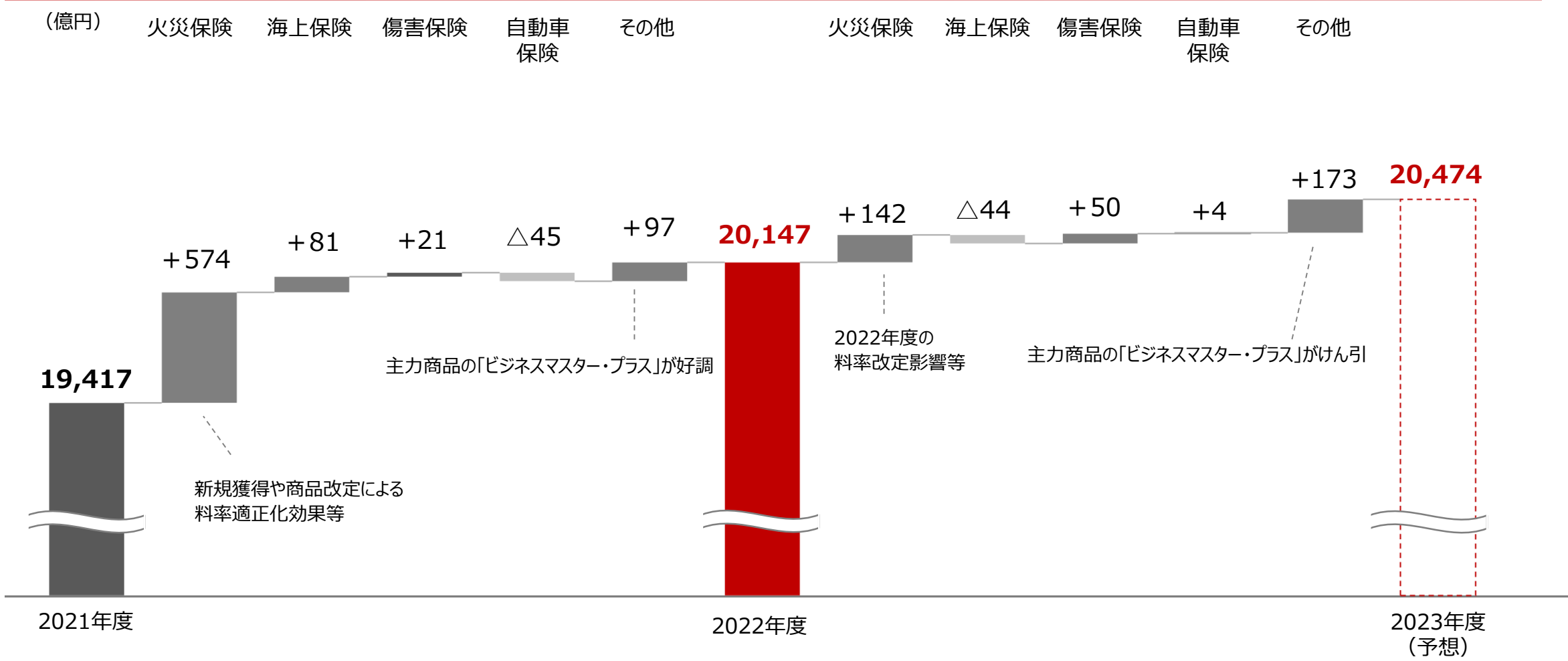
※1 保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 特別繰入 (△200億円) を含む

# 正味収入保険料（損保ジャパン）

- 2022年度は、火災保険・新種保険が好調に推移し、正味収入保険料は+729億円増収
- 2023年度においても火災保険・新種保険の増収基調は継続する想定であり、正味収入保険料は+327億円増収を見込む

## 正味収入保険料（除く自賠責・家計地震）の増減要因



# (参考) 種目別正味収入保険料 (損保ジャパン)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 種目別正味収入保険料

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減		2023年度 (予想)
火災	3,276	3,850	+573	(+17.5%)	3,992
海上	468	549	+81	(+17.3%)	505
傷害	1,516	1,537	+21	(+1.4%)	1,588
自動車	10,877	10,832	△45	(△0.4%)	10,836
自賠責	2,168	2,107	△61	(△2.8%)	1,774
その他	3,280	3,378	+97	(+3.0%)	3,552
うち賠償責任	1,593	1,624	+31	(+2.0%)	1,640
合計	21,587	22,255	+667	(+3.1%)	22,250
合計 (除く自賠責・家計地震)	19,417	20,147	+729	(+3.8%)	20,474

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料  
前年同期比 (2022年4月～2023年3月)

(営業成績保険料ベース)

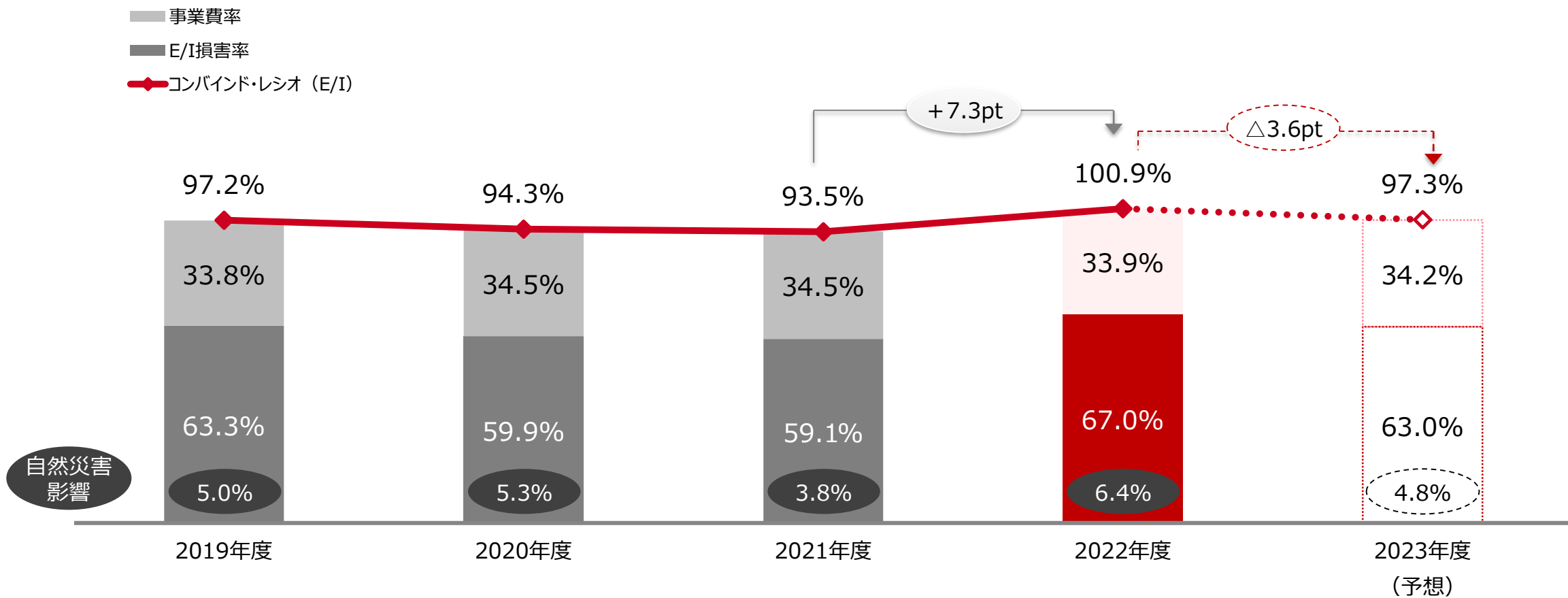
	台数*	単価	保険料
ノンフリート	△0.3%	+0.3%	△0.1%
フリート	+1.5%	△3.3%	△1.8%
合計	+0.0%	△0.4%	△0.3%

※ 時間単位型自動車保険 乗るピタ! を除く

# コンバインド・レシオ (損保ジャパン)

- 自然災害と新型コロナ等の影響を主因とする損害率の上昇により、2022年度のコンバインド・レシオは+7.3pt上昇の100.9%
- 2023年度のコンバインド・レシオは、一過性要因の剥落を主因とした損害率の改善により、△3.6pt改善の97.3%を見込む

## コンバインド・レシオ (E/I) ※ (除く自賠責・家計地震)

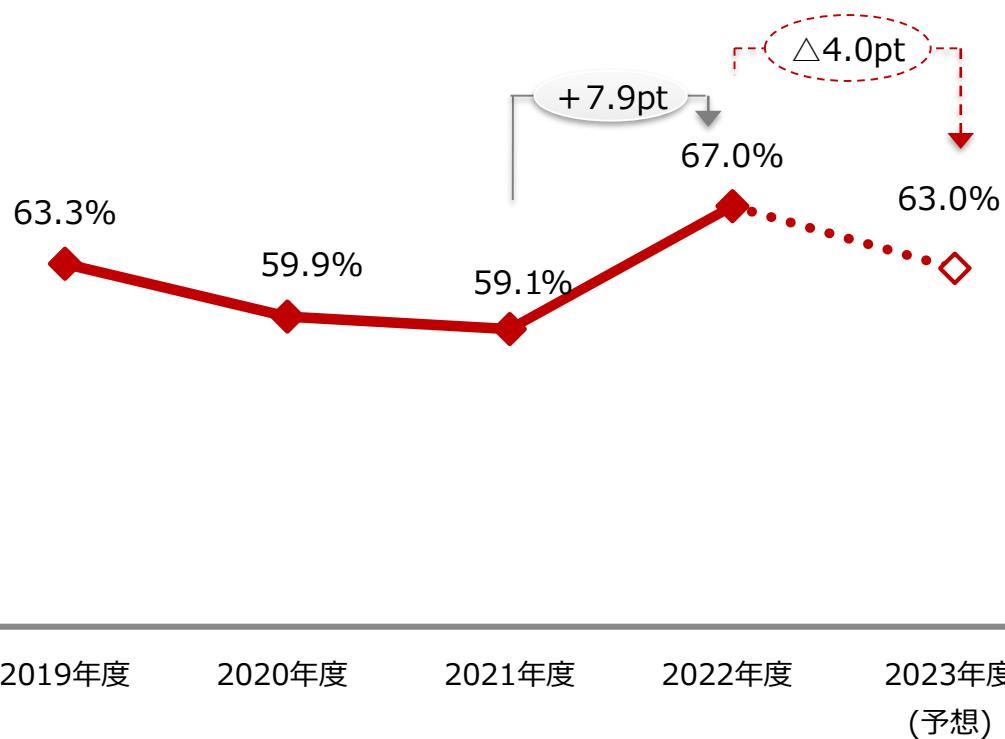


※ E/I損害率 + 正味事業費率 (以下同様)

# 損害率（損保ジャパン）

- 自然災害影響や、新型コロナによる保険金支払増加と自動車保険の事故減少影響剥落を主因に、E/I損害率は+7.9pt上昇
- 2023年度の損害率は、新型コロナ影響等の一過性要因の剥落により、△4.0pt改善となる63.0%を見込む

## E/I損害率（除く自賠責・家計地震）の推移



※ 2022年度の外貨建支払備金の為替影響（繰入額）31億円（+0.4pt）

## 種目別E/I損害率

	2022年度		2023年度
	実績	増減	予想
火災（除く家計地震）	88.8%	+14.9pt	68.6%
海上	48.8%	△8.2pt	63.3%
傷害	62.8%	+11.0pt	54.8%
自動車	62.1%	+6.4pt	62.1%
その他	64.4%	+5.0pt	63.0%
合計（除く自賠責・家計地震）	67.0%	+7.9pt	63.0%

(主な増減要因) 火災：自然災害影響（+6.1pt） 傷害：新型コロナ関連保険金影響（+6.4pt）  
自動車：新型コロナ影響の剥落（+4.1pt）および自然災害影響（+2.0pt）

## （参考）種目別W/P損害率

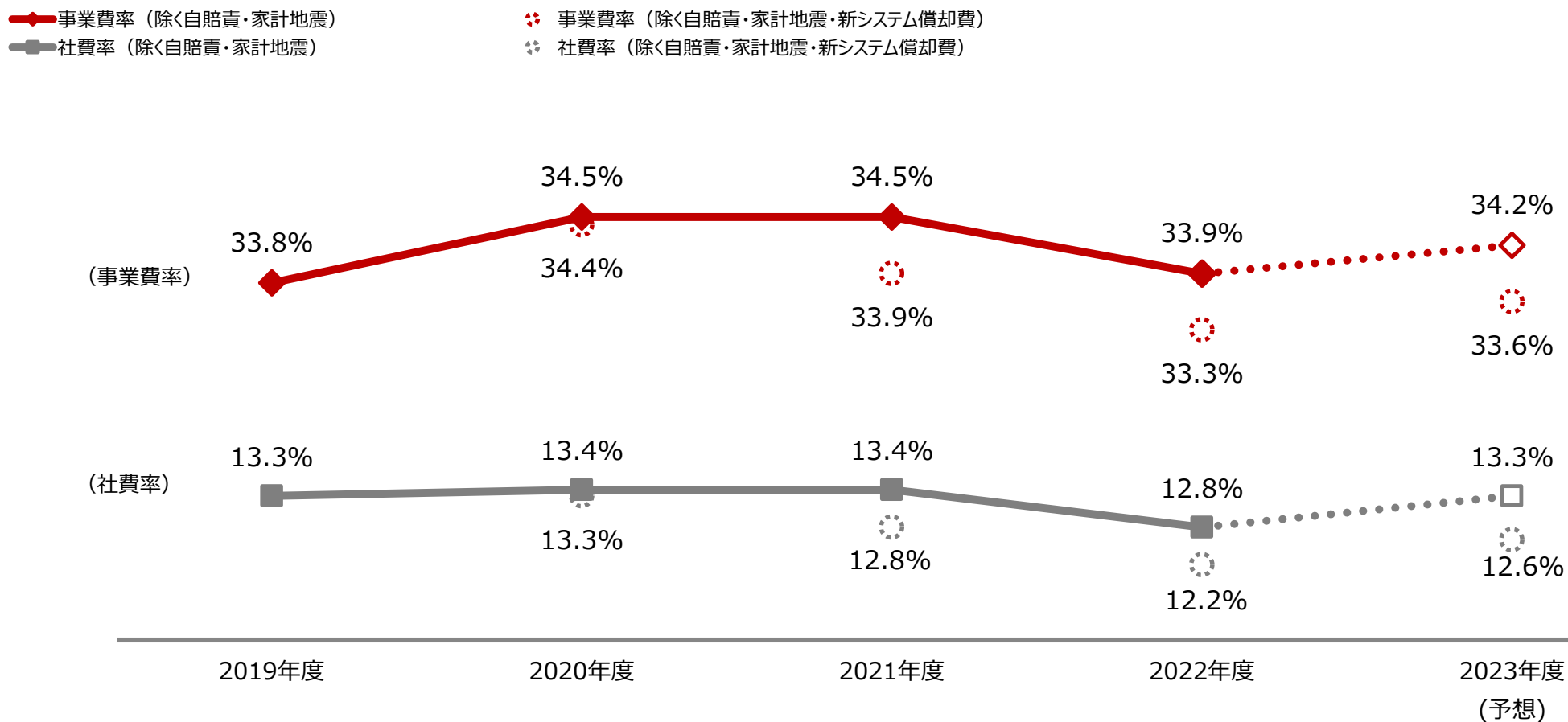
	2022年度		2023年度
	実績	増減	予想
火災（除く家計地震）	76.3%	+8.4pt	71.6%
海上	44.2%	△7.5pt	60.2%
傷害	61.3%	+11.2pt	53.2%
自動車	60.2%	+4.2pt	61.1%
その他	59.3%	+3.8pt	60.7%
合計（除く自賠責・家計地震）	62.8%	+5.4pt	62.4%



# 事業費率（損保ジャパン）

- 2022年度の事業費率および社費率は、ともに△0.6pt改善
- 2023年度の事業費率は、システム関連コストの増加等により、+0.4ptを見込む

## 事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移



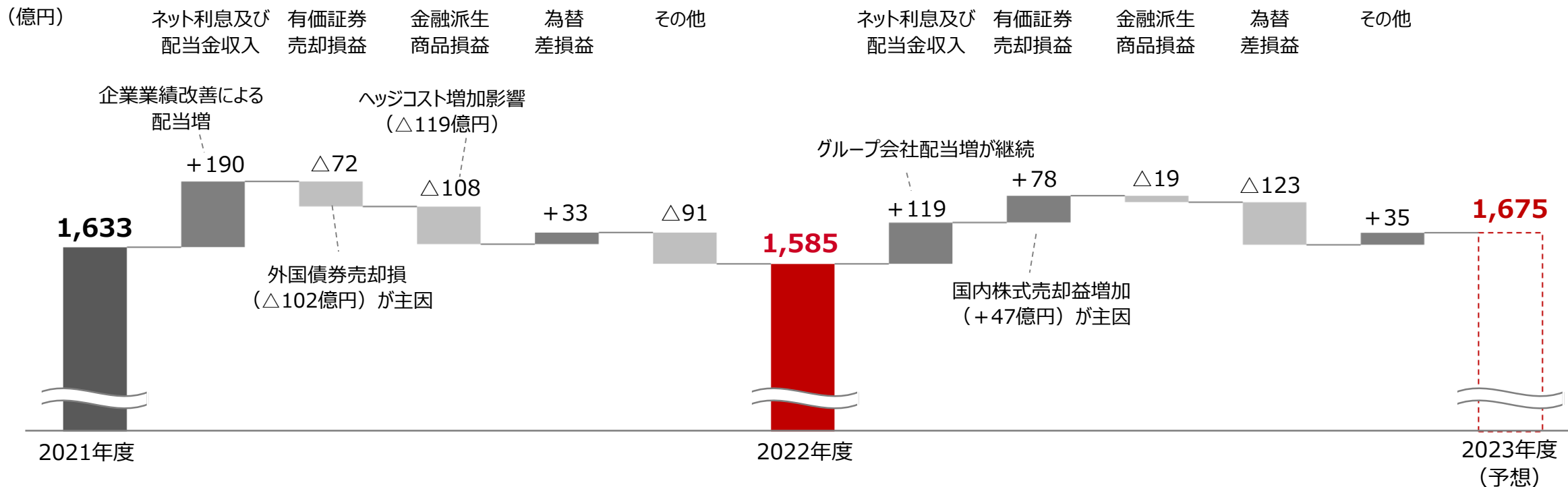
※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

# 資産運用損益（損保ジャパン）



- 2022年度の資産運用損益は1,585億円、企業業績改善による配当の増加等から、ネット利配が+190億円増収と好調
- 2023年度の資産運用損益は、利配収入増加等により、+90億円増益となる1,675億円を見込む

## 資産運用損益の増減要因



	ネット利息及び配当金収入	有価証券売却損益	金融派生商品損益	為替差損益	その他	資産運用損益
2021年度	1,170億円	381億円	△24億円	99億円	5億円	1,633億円
<b>2022年度</b>	<b>1,361億円</b>	<b>309億円</b>	<b>△133億円</b>	<b>133億円</b>	<b>△85億円</b>	<b>1,585億円</b>
<b>2023年度 (予想)</b>	<b>1,480億円</b>	<b>388億円</b>	<b>△152億円</b>	<b>10億円</b>	<b>△50億円</b>	<b>1,675億円</b>

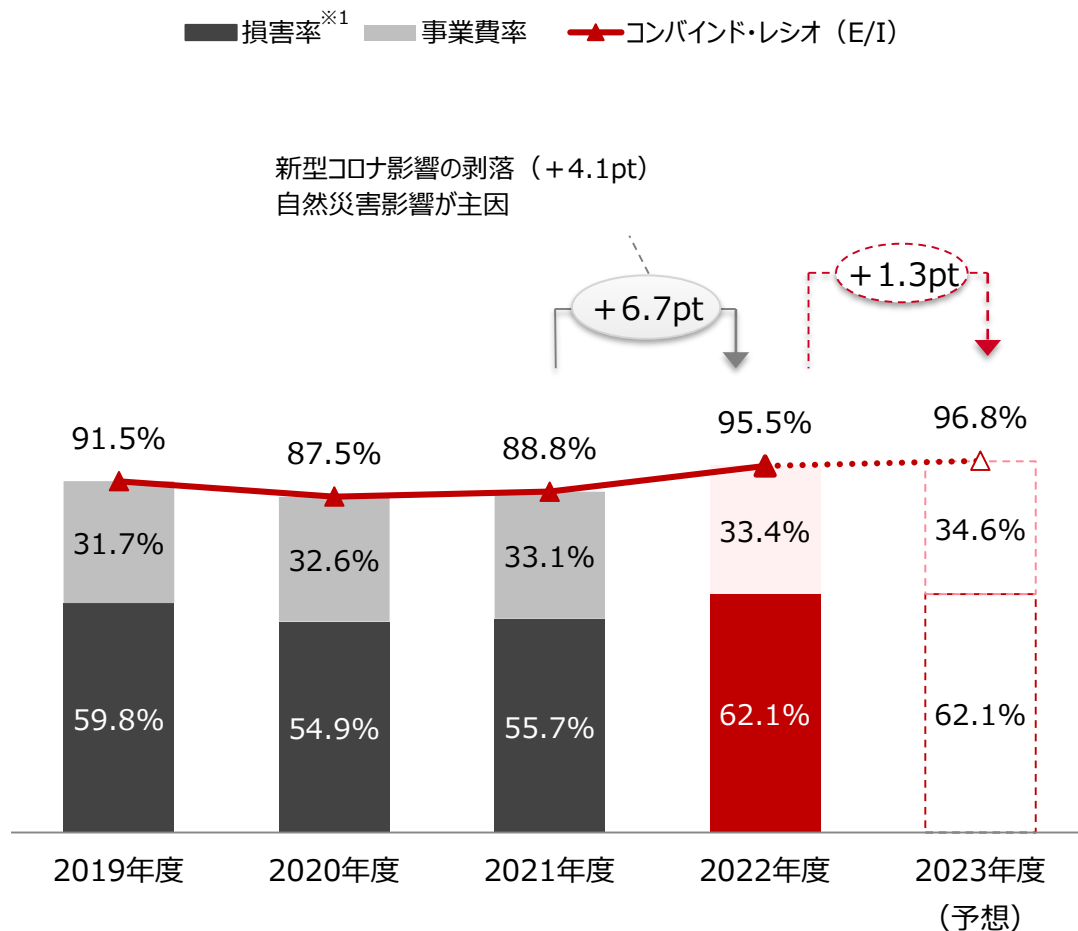
政策株式削減額
501億円
<b>703億円</b>
<b>700億円</b>

# (参考) 自動車保険関連の指標 (損保ジャパン)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM

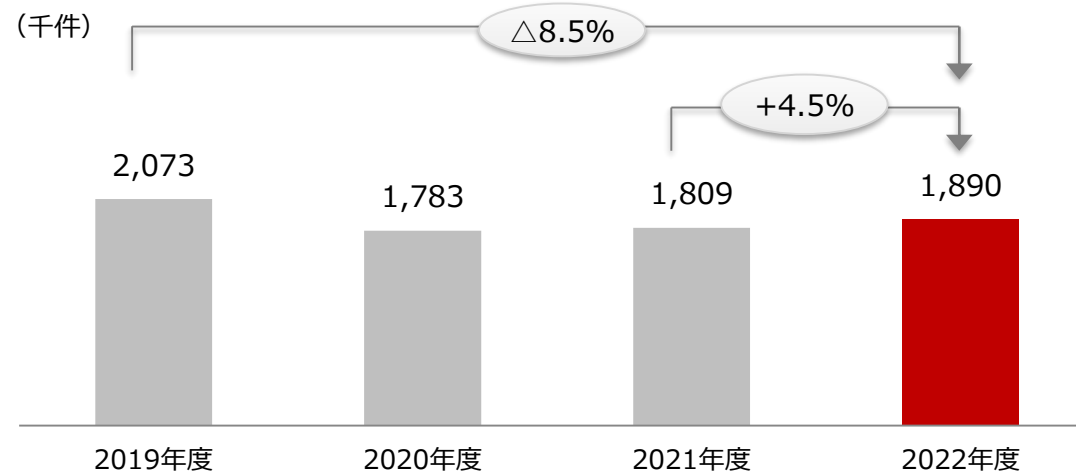


## コンバインド・レシオ (E/I) の推移



※1 E/Iベース (含む損調費)

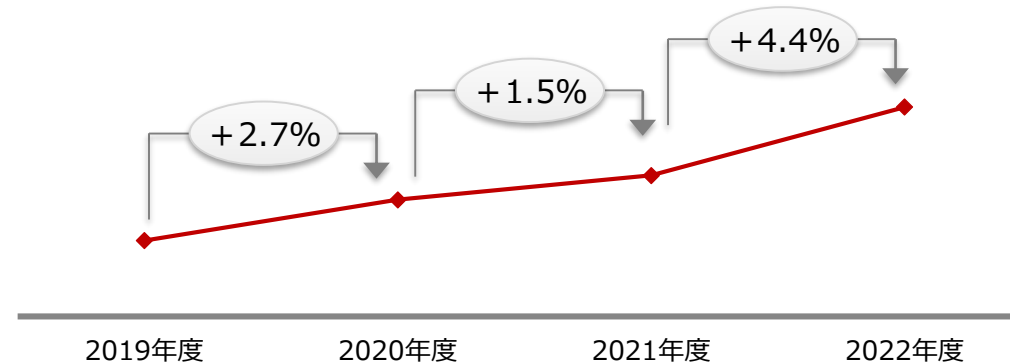
## 事故受付件数<sup>※2</sup> <sup>※3</sup>の推移



※2 発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く

※3 2023年度の事故率は、コロナ影響による事故率の低下は見込まない

## 修理費単価推移<sup>※4</sup> <sup>※5</sup>



※4 車両 (自然災害影響を除く) と対物の合算

※5 2023年度の単価は2022年度の実績を踏まえつつ、概ね同水準の上昇幅を見込む

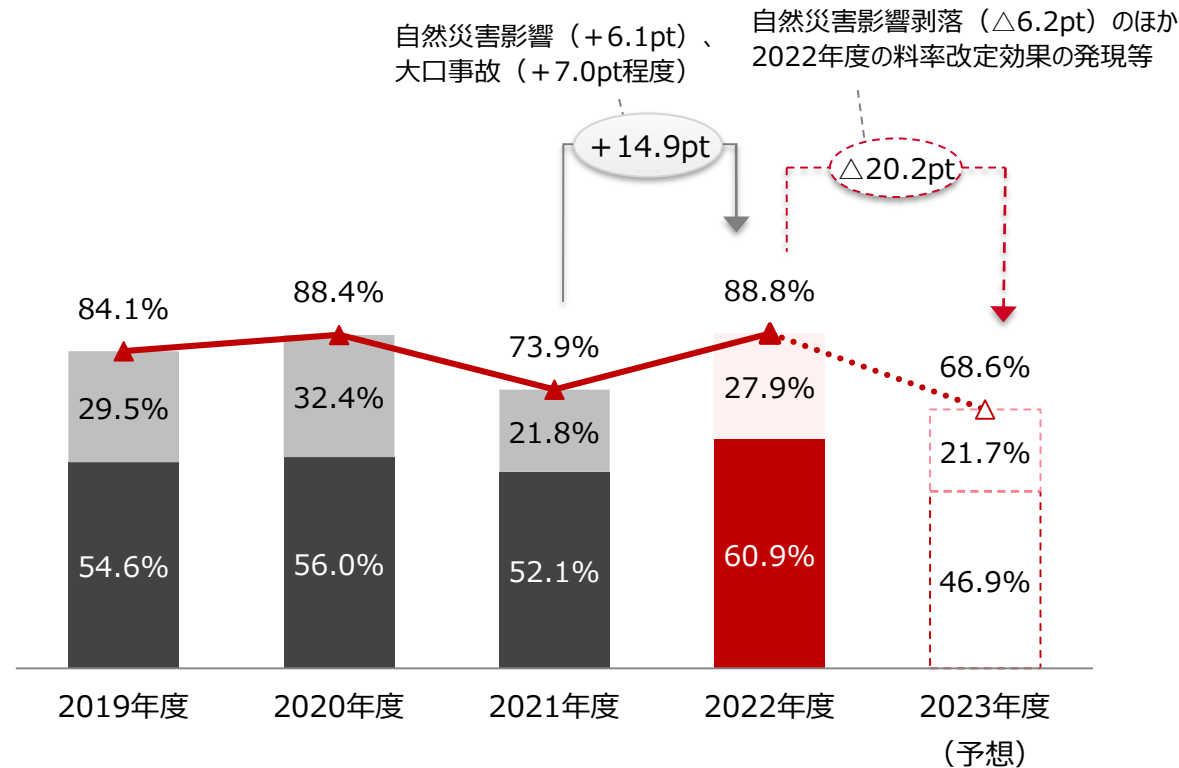
# (参考) 火災保険、新種保険関連の指標 (損保ジャパン)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



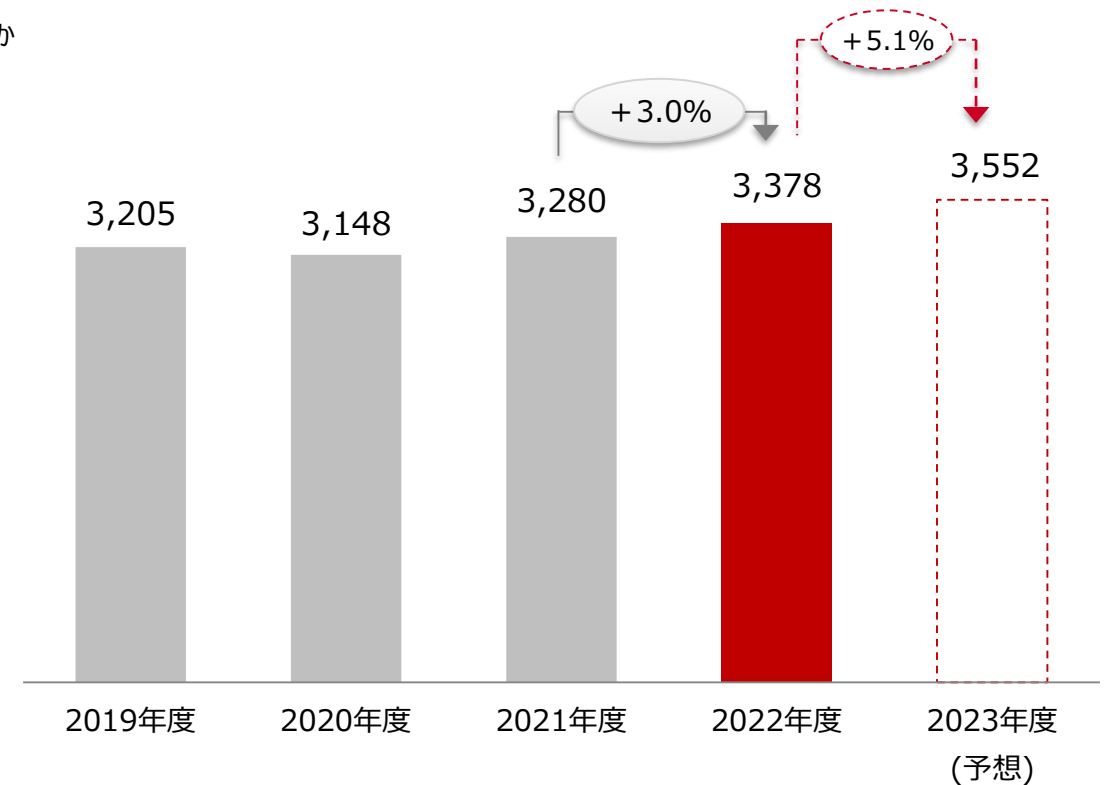
## 火災保険※のE/I損害率の推移

- 火災保険損害率 (国内自然災害)
- 火災保険損害率 (除く国内自然災害)
- ▲ 火災保険E/I損害率



## 新種保険正味収入保険料の推移

(億円)



※ 除く家計地震

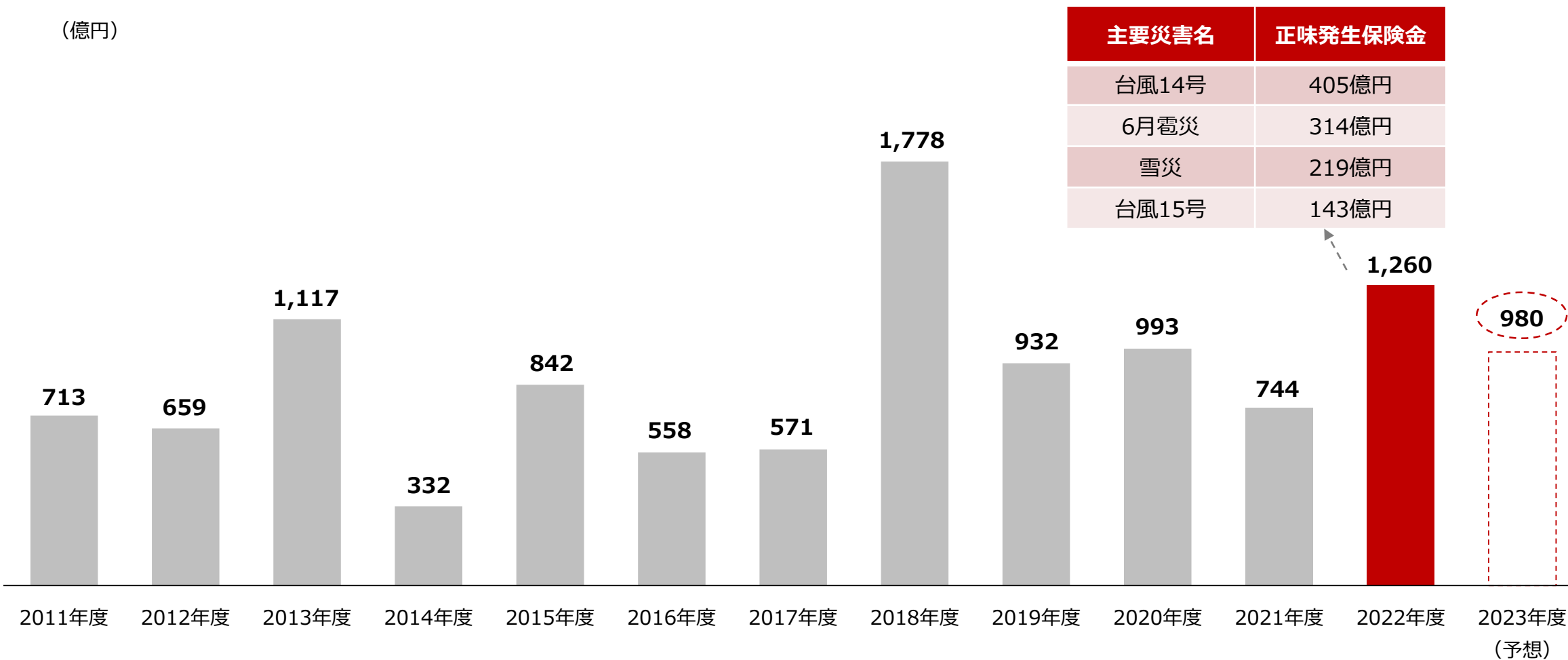
# (参考) 国内自然災害 (損保ジャパン)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 国内自然災害の正味発生損害 (当年度発生) ※

(億円)



※ 除く自賠責・家計地震

# (参考) 資産運用損益内訳 (損保ジャパン)

	概要		事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 資産運用損益

(単位：億円)	2021年度	2022年度	増減	2023年度 (予想)
ネット利息及び配当金収入	1,170	1,361	+190	1,480
利息及び配当金収入	1,479	1,662	+182	1,769
(うち海外子会社配当金)	312	500	+188	737
有価証券売却損益	381	309	△72	388
(うち国内株式)	386	434	+47	420
有価証券評価損	△18	△19	△1	△70
(うち国内株式)	△15	△17	△2	△30
金融派生商品損益	△24	△133	△108	△152
為替差損益	99	133	+33	10
その他損益	23	△66	△89	19
資産運用損益	1,633	1,585	△47	1,675

(参考) 政策株式削減額

**703億円**

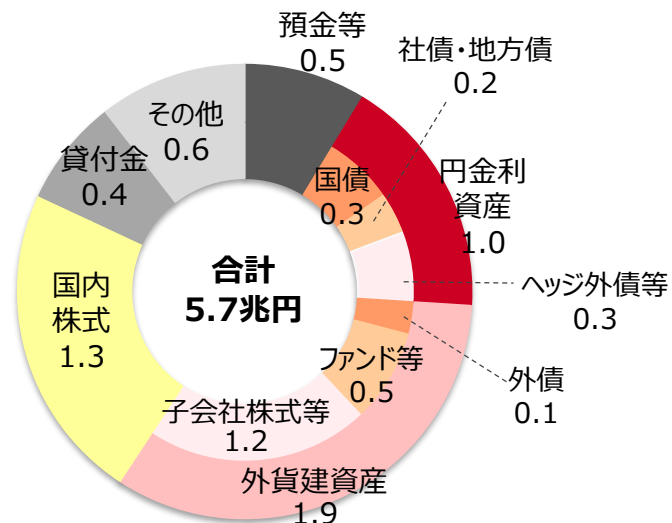
時価ベースのネット削減額  
(売却時価 - 購入時価)



# (参考) 資産ポートフォリオ (損保ジャパン)

## 資産ポートフォリオ (2023年3月末、一般勘定)

(兆円)



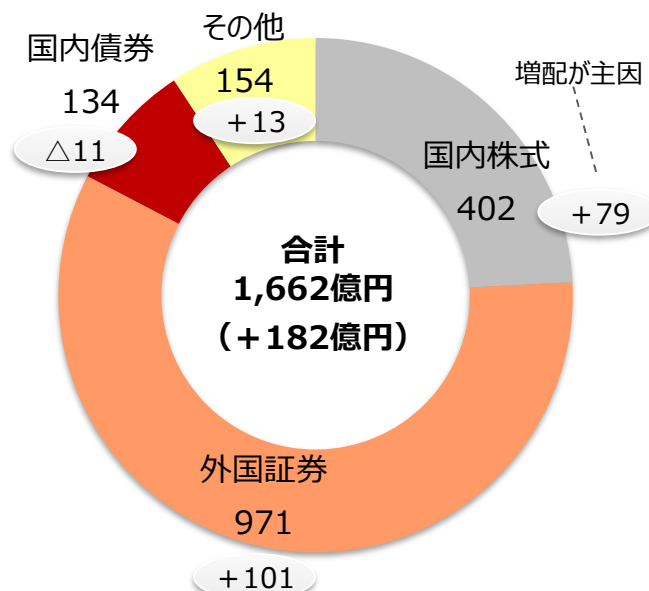
	2022年 3月末	2023年 3月末
インカム利回り*	3.0%	3.0%
デュレーション	資産	7.9年
	負債	7.7年

※ 海外グループ会社株式等を除く

(参考) 円金利資産、外貨建債券の格付構成：BB格以下の保有なし

## 利息及び配当金収入の内訳

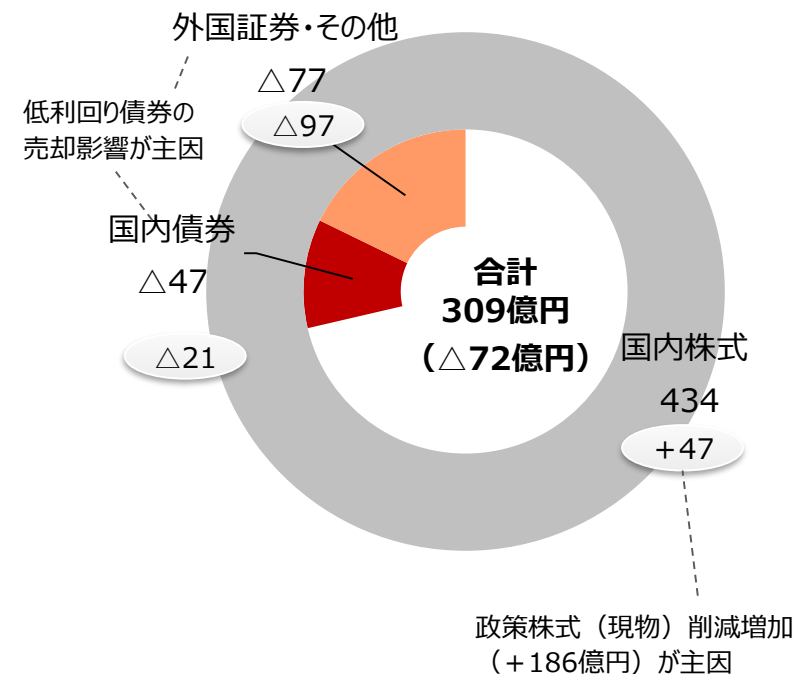
(億円)



グループ会社の配当増額 (+188億円) が主因

## 有価証券売却益の内訳

(億円)



政策株式 (現物) 削減増加 (+186億円) が主因

○ : 2021年度対比の増減額

# (参考) 決算数値 (損保ジャパン)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



(単位：億円)	2021年度	2022年度	増減	2023年度 (予想)
正味収入保険料	21,587	22,255	+667 (+3.1%)	22,250
(除く自賠責・家計地震)	19,417	20,147	+729 (+3.8%)	20,474
既経過保険料 (除く自賠責・家計地震)	19,377	19,797	+419 (+2.2%)	20,479
E/I損害率 (除く自賠責・家計地震)	59.1%	67.0%	+7.9pt	63.0%
正味損害率	59.8%	64.1%	+4.3pt	64.5%
(除く自賠責・家計地震)	57.4%	62.8%	+5.4pt	62.4%
正味事業費率	33.7%	33.5%	△0.2pt	34.4%
(除く自賠責・家計地震)	34.5%	33.9%	△0.6pt	34.2%
コンバインド・レシオ (E/I) (除く自賠責・家計地震)	93.5%	100.9%	+7.3pt	97.3%
(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)	91.9%	96.7%	+4.8pt	96.7%
保険引受利益	630	△198	△828	730
資産運用粗利益	1,633	1,585	△47	1,675
経常利益	2,108	1,249	△858	2,250
当期純利益	1,662	1,080	△581	1,800
(参考) 異常危険準備金繰入額等 (税引後)	+418	△71	△489	△117
価格変動準備金繰入額 (税引後)	+30	+32	+1	+31
有価証券売却損益・評価損 (税引後)	△258	△204	+54	△210
特殊要因 (税引後) ※	△289	△504	△215	△709
修正利益	1,562	331	△1,230	795

※ グループ会社配当、株式先物関連損益等

(参考)  
修正利益

# 事業別詳細

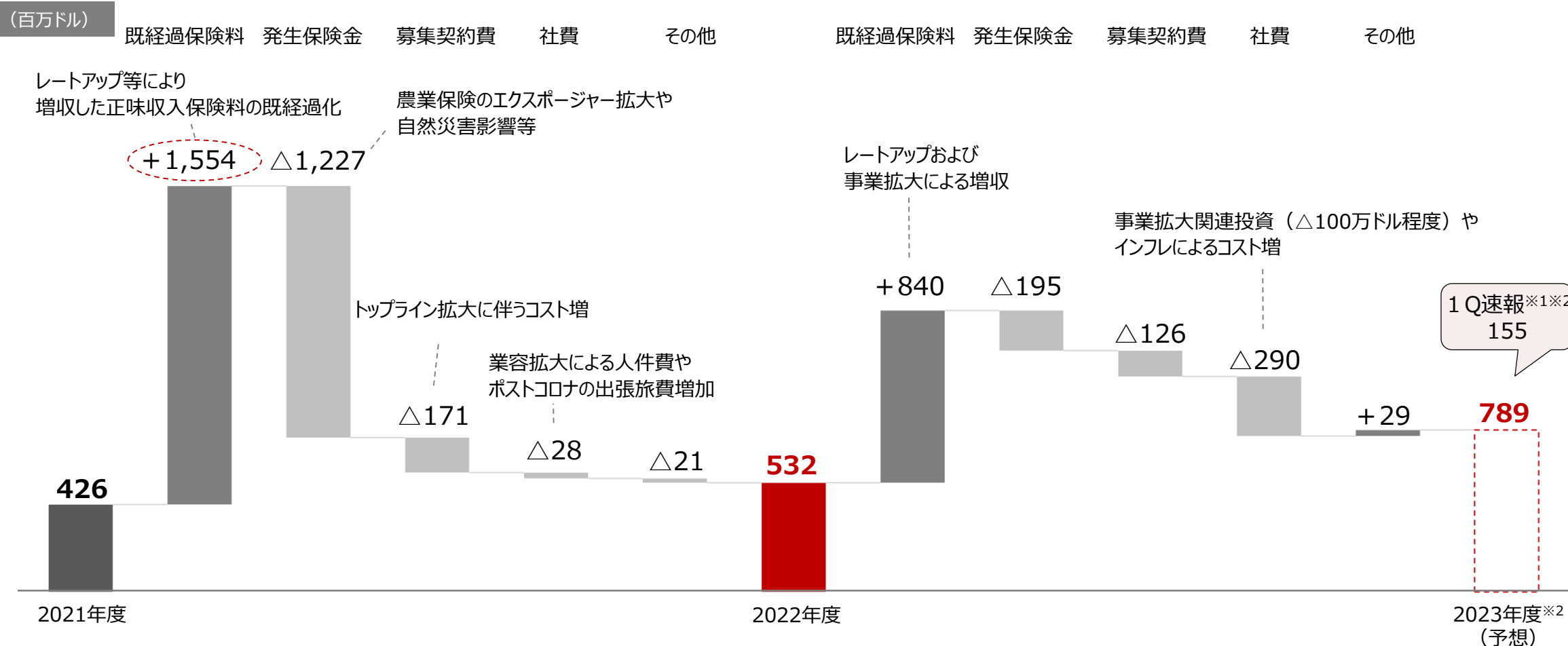
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	15
<b>海外保険事業</b>	<b>29</b>
国内生保事業	38
介護・シニア事業	45
ERM	48



# 保険引受利益 (SIコマーシャル)

- 2022年度の保険引受利益は、増収によるコンバインド・レシオ改善を主因に、+25%増益の532百万ドル
- トップライン成長と、農業保険を含む元受保険での損害率改善により、2023年度の保険引受利益は789百万ドルを見込む

## 保険引受利益※1の増減要因



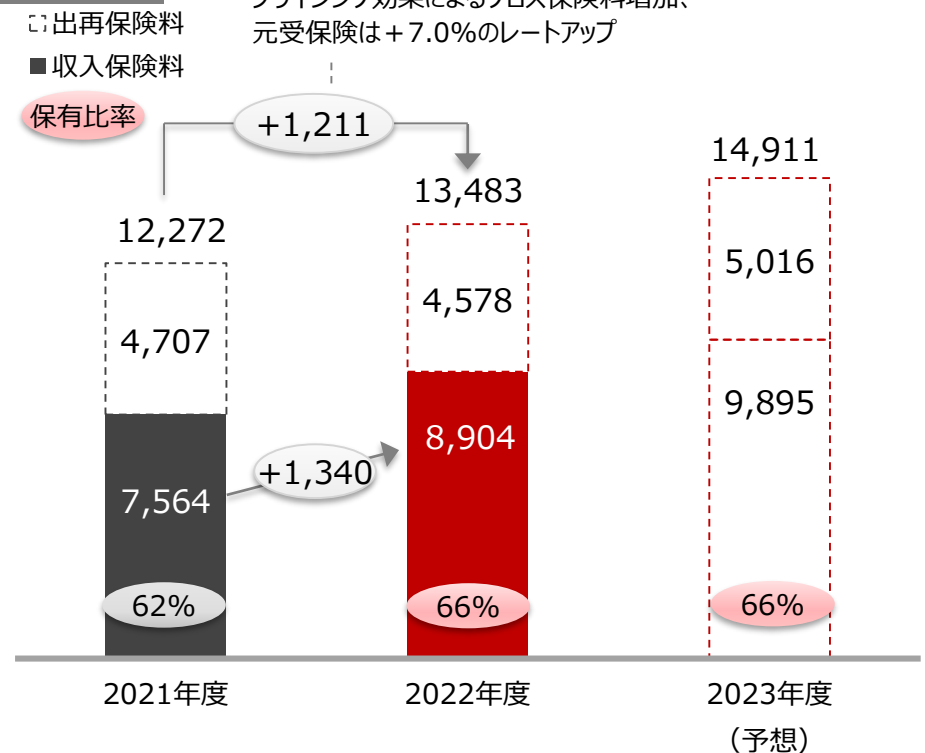
※1 2021年度、2022年度は本社経費影響 (それぞれ△76百万ドル、△89百万ドル) を含む、2023年度予想および1Q速報は本社経費を含まない (2022年度実績 (除く本社経費) は、保険引受利益:621百万ドル)  
 ※2 2023年度のSIコマーシャルには、Sompoシグルタ、Sompoセグロス、アジア各社のコマーシャル事業を含む

# 収入保険料 (SIコマーシャル)

- 2022年度の正味収入保険料は、農業保険の作物価格上昇および保有比率引き上げを主因に、+18%増収の8,904百万ドル
- 元受保険のレートアップや事業拡大により、2023年度の正味収入保険料は9,895百万ドルを見込む

## グロス保険料

(百万ドル)



(2022年度の主な増減要因)

- 元受保険 (除く農業) : プロパティ、カジュアルティ種目を中心に継続的なレートアップ
- 農業保険 : 作物価格上昇影響および旧ダイバーシファイド社契約の保有比率引き上げ
- 再保険 : カジュアルティ種目 (企業賠償責任保険等) での増収

## (参考) セグメント別トップライン

(単位: 百万ドル)

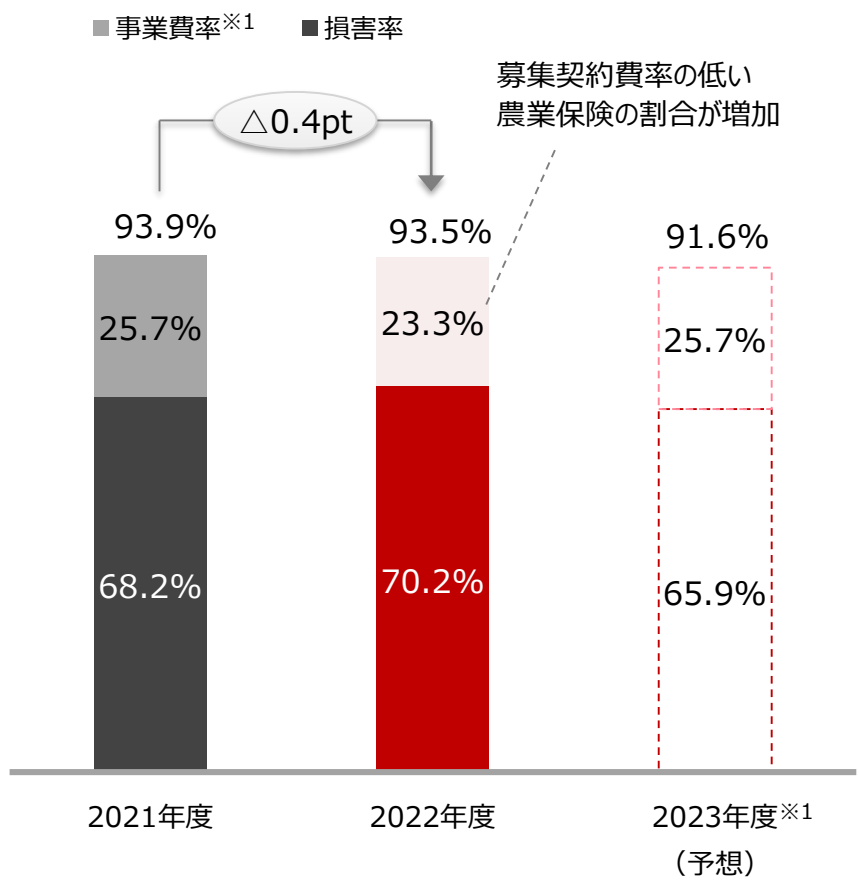
	2021年度	2022年度	増減	2023年度 予想
グロス保険料				
元受保険 (除く農業)	5,748	5,991	+242 (+4.2%)	-
農業保険	2,696	3,371	+675 (+25.1%)	-
再保険	3,827	4,119	+292 (+7.6%)	-
合計	12,272	13,483	+1,211 (+9.9%)	14,911
正味収入保険料				
元受保険 (除く農業)	3,221	3,419	+198 (+6.2%)	-
農業保険	952	1,742	+789 (+83.0%)	-
再保険	3,418	3,715	+296 (+8.7%)	-
合計	7,564	8,904	+1,340 (+17.7%)	9,895
既経過保険料				
元受保険 (除く農業)	2,710	3,269	+558 (+20.6%)	-
農業保険	962	1,641	+679 (+70.5%)	-
再保険	3,231	3,517	+286 (+8.9%)	-
合計	6,889	8,444	+1,554 (+22.6%)	9,285
保有比率				
元受保険 (除く農業)	56%	57%	+1pt	-
農業保険	35%	52%	+16pt	-
再保険	89%	90%	+1pt	-
合計	62%	66%	+4pt	66%

※収入保険料は、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる  
また、2023年度のSIコマーシャルには、Sompoシゴルタ、Sompoセグロス、アジア各社のコマーシャル事業を含む

# コンバインド・レシオ (SIコマーシャル)

- 募集契約費を中心とした事業費率改善を主因に、2022年度のコンバインド・レシオは0.4pt改善の93.5%
- 2023年度は農業保険の損害率改善や自然災害リスクテイクの抑制により、コンバインド・レシオは91.6%とさらに改善する見通し

## コンバインド・レシオ



(参考) セグメント別コンバインド・レシオ		2021年度	2022年度	増減	2023年度 予想※1
損害率	元受保険 (除く農業)	68.2%	69.6%	+ 1.4pt	-
	農業保険	84.8%	93.3%	+ 8.5pt	-
	再保険	63.2%	60.0%	△3.2pt	-
	合計	68.2%	70.2%	+ 2.0pt	65.9%
事業費率※2	元受保険 (除く農業)	23.5%	22.2%	△1.3pt	-
	農業保険	11.0%	5.9%	△5.0pt	-
	再保険	29.5%	30.1%	+ 0.6pt	-
	合計	25.7%	23.3%	△2.4pt	25.7%
コンバインド・レシオ※2	元受保険 (除く農業)	91.6%	91.7%	+ 0.1pt	-
	農業保険	95.7%	99.2%	+ 3.5pt	-
	再保険	92.7%	90.1%	△2.6pt	-
	合計	93.9%	93.5%	△0.4pt	91.6%

(2022年度コンバインド・レシオの主な増減要因)

元受保険 (除く農業) : ハリケーンイアン等の自然災害影響  
 農業保険 : 北米干ばつによる損害率上昇を、ダイバーシファイド社統合後の社費削減で一部オフセット  
 再保険 : プライシングによる増収効果

※1 2023年度のSIコマーシャルには、Sompoシゴルタ、Sompoセグロス、アジア各社のコマーシャル事業を含む  
 ※2 2021年度、2022年度は本社経費影響 (それぞれ1.1%、1.1%) を含む、2023年度は本社経費を含まない (2022年度実績 (除く本社経費) は事業費率:22.3%、コンバインド・レシオ:92.4%)

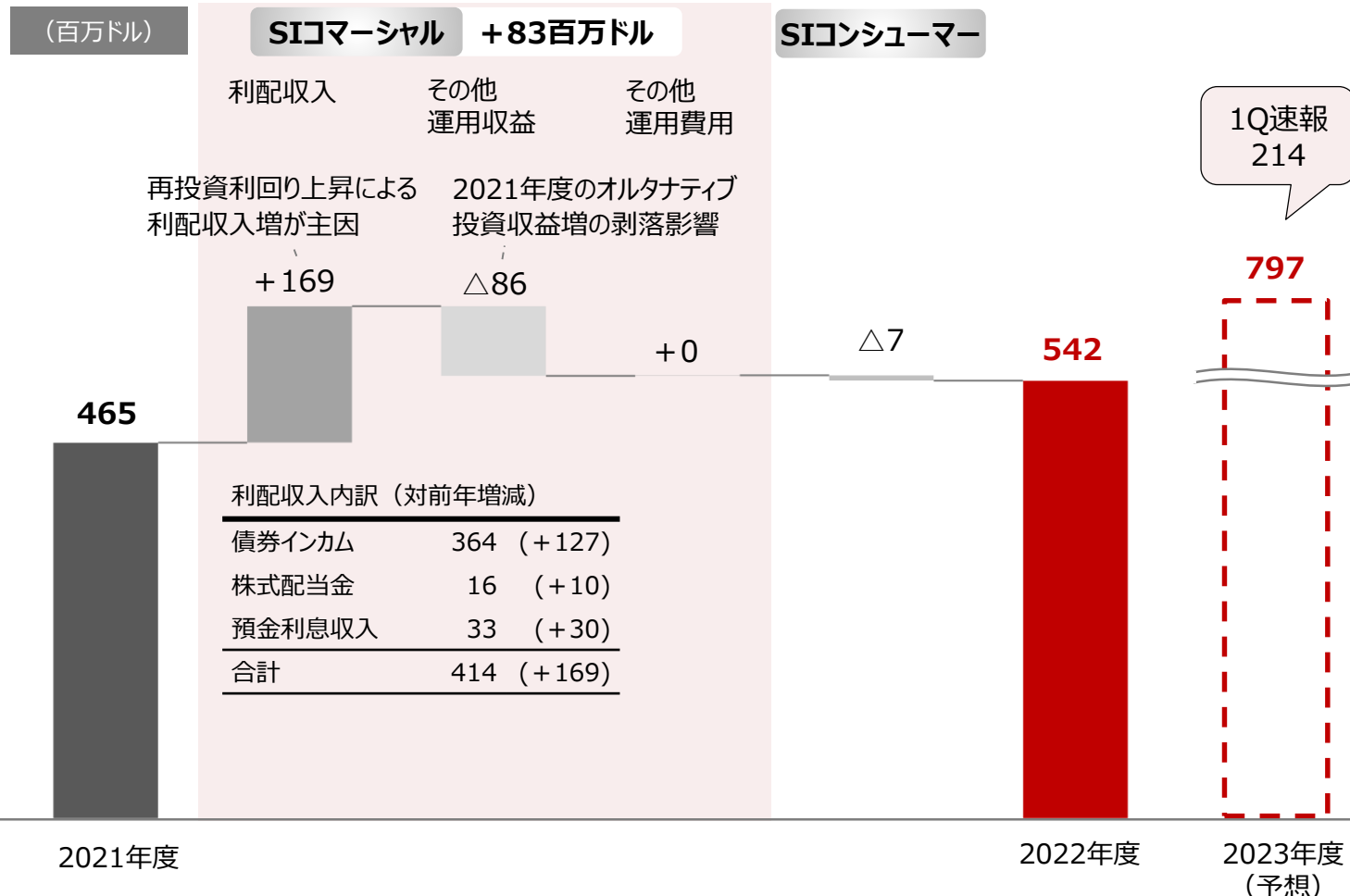
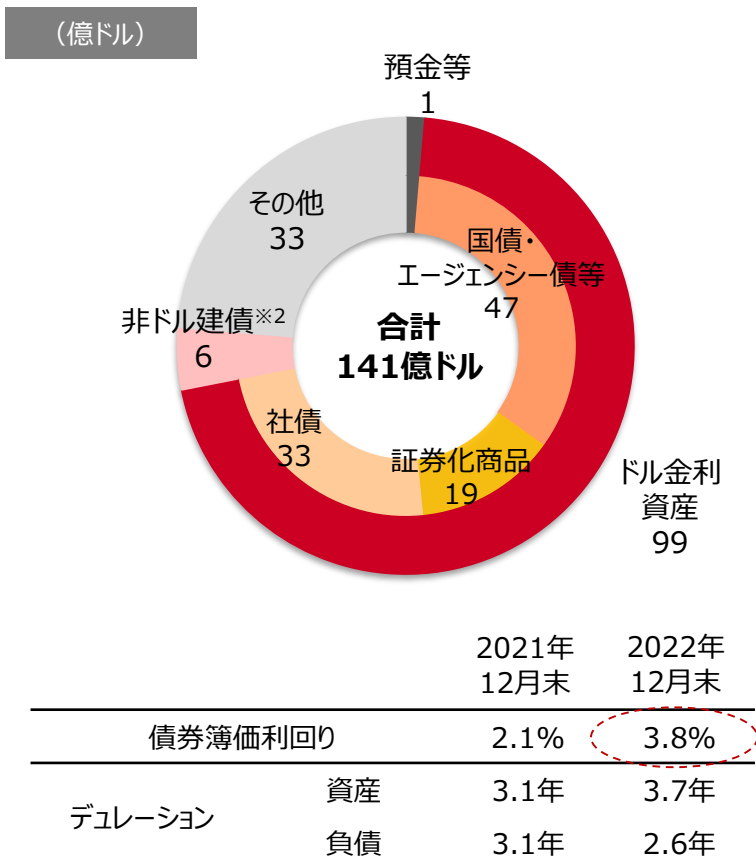


# 資産ポートフォリオ・資産運用損益

- 運用資産額増加と再投資利回り上昇による利配収入増を主因に、2022年度の資産運用損益は+17%増益の542百万ドル
- 2023年度の資産運用損益は、再投資利回り上昇継続に加え、コングロマリット・プレミアム創出の取組効果により、797百万ドルを見込む

## 資産ポートフォリオ※1 (SIコマーシャル、2022年12月末)

## 海外保険事業※3の資産運用損益の内訳



※1 債券資産の格付構成：BB格以下は全体の13%  
 ※2 一部預金含む

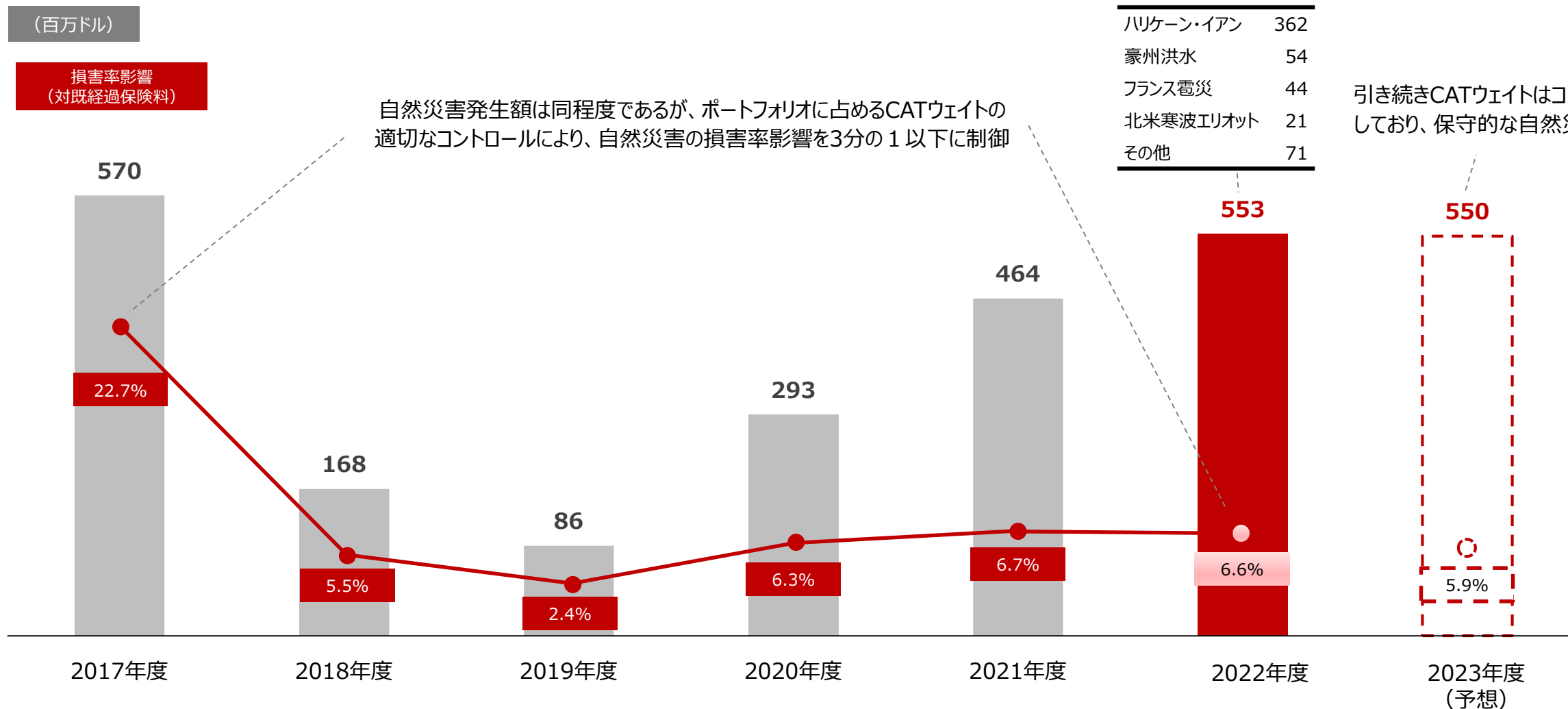
※3 SIH非連結会社を除く

# (参考) 海外自然災害 (SIコマース)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 海外自然災害影響※ (当年度発生)



※海外自然災害影響には復元保険料を含む

# (参考) 決算数値

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



	(百万ドル)		2021年度		2022年度		2023年度※4	
			(実績)	(実績)	増減	(予想)	増減	
S I コ マ ー シ ャ ル	グロス保険料	12,272	13,483	+1,211	(+9.9%)	14,911	+1,428	(+10.6%)
	正味保険料	7,564	8,904	+1,340	(+17.7%)	9,895	+990	(+11.1%)
	既経過保険料	6,889	8,444	+1,554	(+22.6%)	9,285	+840	(+10.0%)
	発生保険金	4,697	5,925	+1,227	(+26.1%)	6,121	+195	(+3.3%)
	事業費	1,769	1,969	+199	(+11.3%)	2,386	+416	(+21.2%)
	保険引受利益※2	426	532	+105	(+24.8%)	789	+257	(+48.3%)
	損害率	68.2%	70.2%	+2.0pt	-	65.9%	△4.2pt	-
	事業費率※2	25.7%	23.3%	△2.4pt	-	25.7%	+2.4pt	-
	コンバインド・レシオ※2	93.9%	93.5%	△0.4pt	-	91.6%	△1.9pt	-
海 外 保 険 事 業 ※1	資産運用利益	465	542	+83	(+16.5%)	797	+255	(+47.2%)
	当期純利益	323	△427	△815	-	1,126	+1,554	-
	為替損益	△74	△11	+63	-	△26	△15	-
	有価証券売却・減損損失等※3	282	1,347	+1,065	-	△32	△1,379	-
	税効果	△15	△217	△195	-	+33	+250	-
	海外保険事業修正利益	538	703	+165	(+30.8%)	1,107	+403	(+57.3%)
	海外保険事業修正利益 (億円)	618	933	+315	(+50.9%)	1,500	+544	(+60.6%)

※1 SIH非連結会社を除く

※2 2021年度、2022年度は本社経費影響（それぞれ△76百万ドル、△89百万ドル）を含む、2023年度は本社経費を含まない

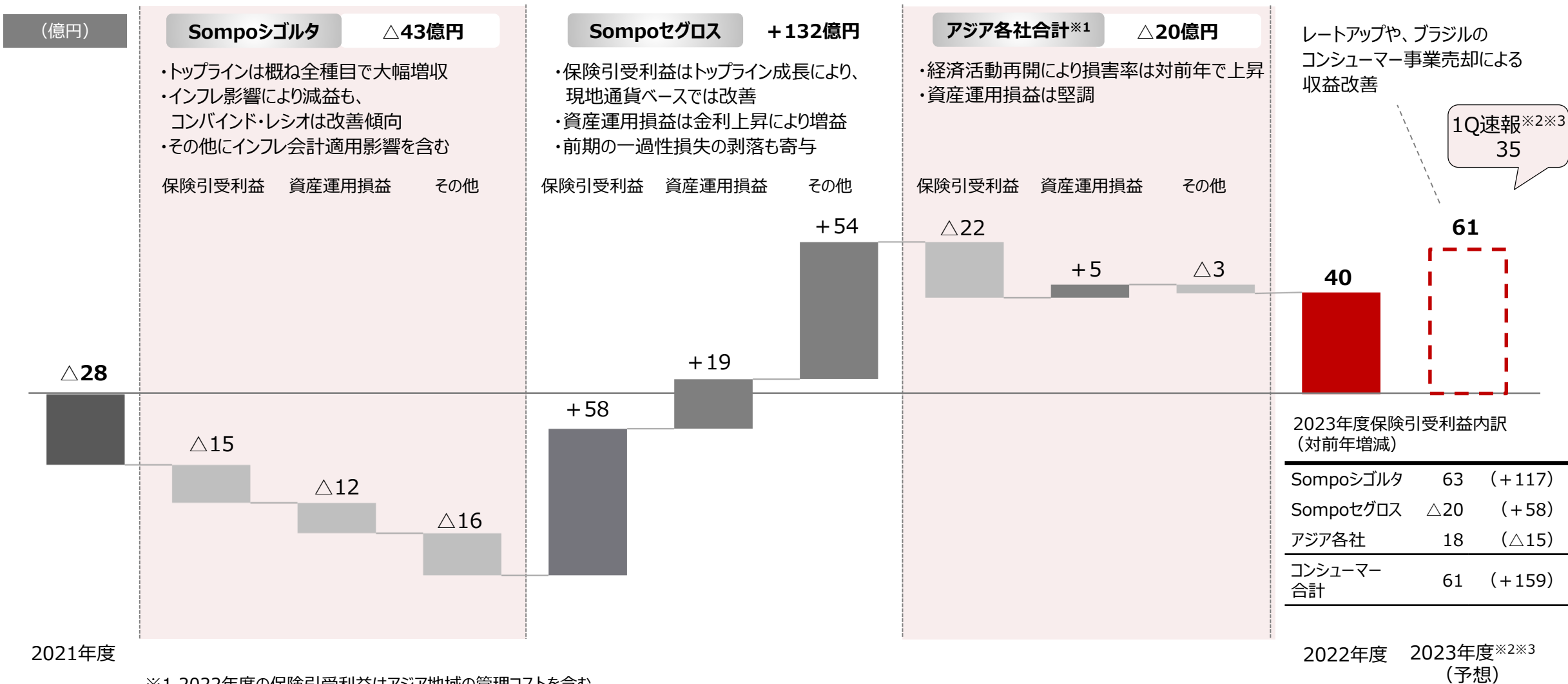
※3 現地IFRS会計により、未実現損益を含む

※4 2023年度のSIコマースには、Sompoシグルタ、Sompoセグロス、アジア各社のコマース事業を含む

1Q速報  
355億円

# (参考) SIコンシューマー業績概況

## SIコンシューマーの業績変動要因 (修正利益ベース)



※1 2022年度の保険引受利益はアジア地域の管理コストを含む  
 ※2 2023年度のSIコンシューマーは、Sompoシゴルタ、Sompoセグロス、アジア各社の商業事業を除く  
 ※3 2023年度予想および1Q速報はSIコンシューマーの保険引受利益

# (参考) 地域別業績概況

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 地域別業績

(億円)

	正味収入保険料				修正利益		
	2021年度 実績	2022年度 実績	増減	2023年度 予想※1※2	2021年度 実績	2022年度 実績	増減
SIコマーシャル	8,700	11,816	+3,115	13,213	646	916	+270
Sompoシゴルタ (中東・トルコ)	247	505	+258	—	41	△1	△43
Sompoセグロス (南米・ブラジル)	607	901	+293	—	△158	△26	+132
SIコンシューマー							
アジア各社合計	515	670	+155	—	88	68	△20
SIコンシューマー合計	1,370	2,077	+706	1,248	△28	40	+68
その他 (コーポレートコスト等)	—	—	—	—	—	△23	△23
合計	10,071	13,900	+3,829	14,461	618	933	+315

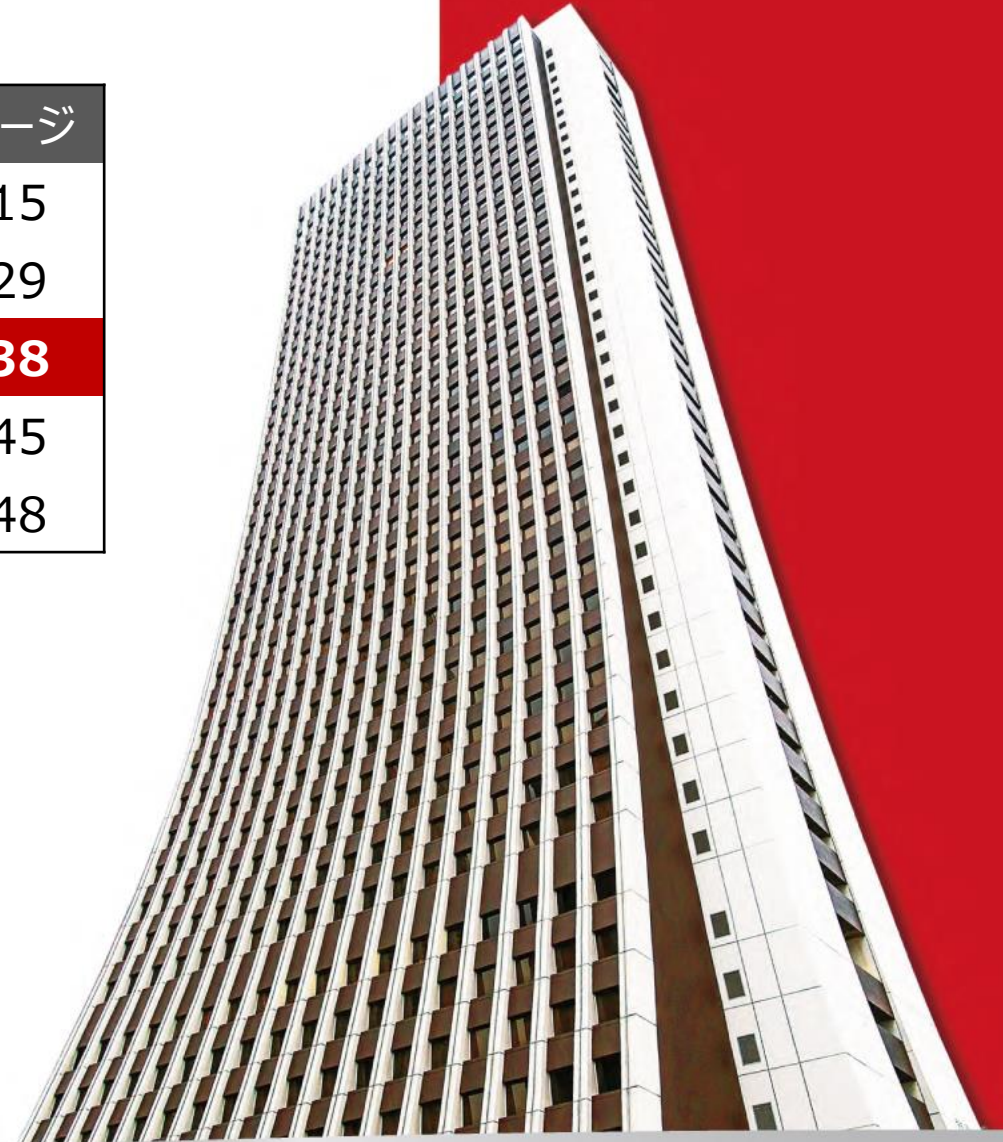
(参考) 為替レート	2022年12月末	対前年
円/米ドル	132.70	+15.4%
円/トルコリラ	7.10	△21.6%
円/ブラジルリアル	25.14	+24.5%

※1 2023年度予想は133.53円/米ドル (2023年3月末) にて換算

※2 2023年度のSIコマーシャルには、Sompoシゴルタ、Sompoセグロス、アジア各社のコマーシャル事業を含む

# 事業別詳細

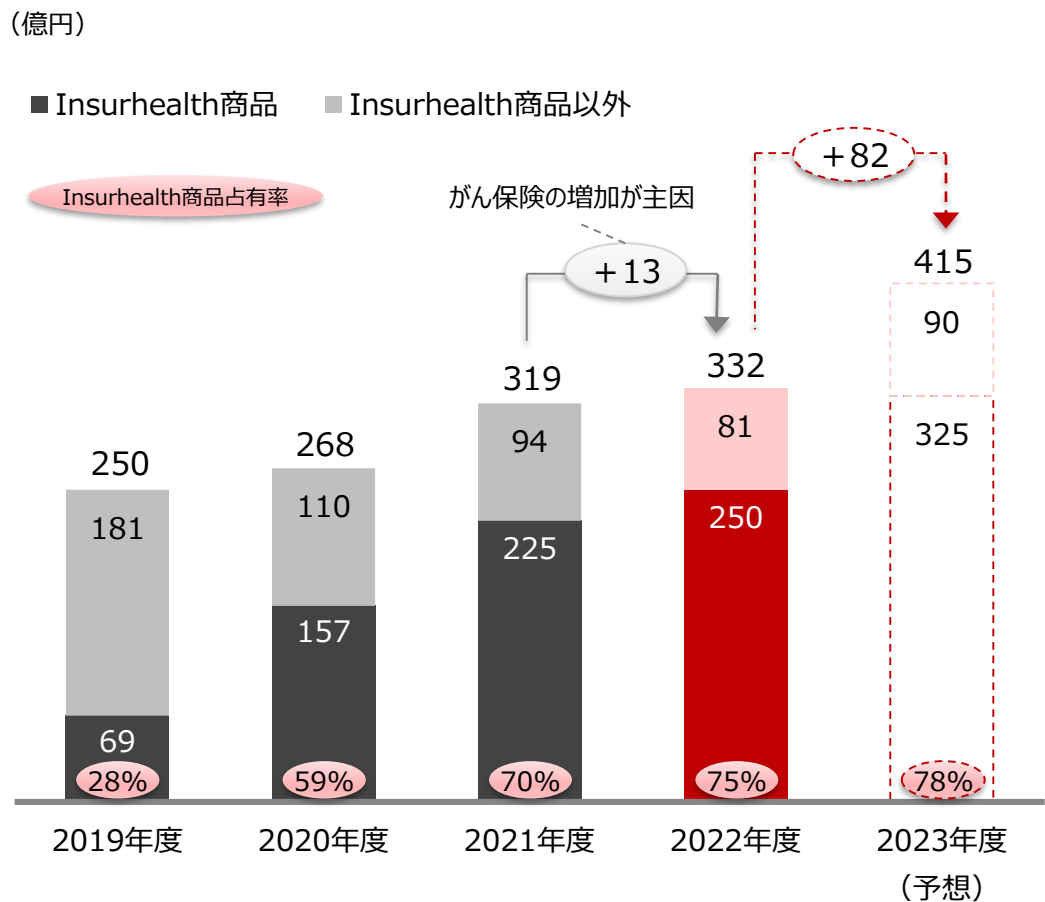
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	15
海外保険事業	29
<b>国内生保事業</b>	<b>38</b>
介護・シニア事業	45
ERM	48



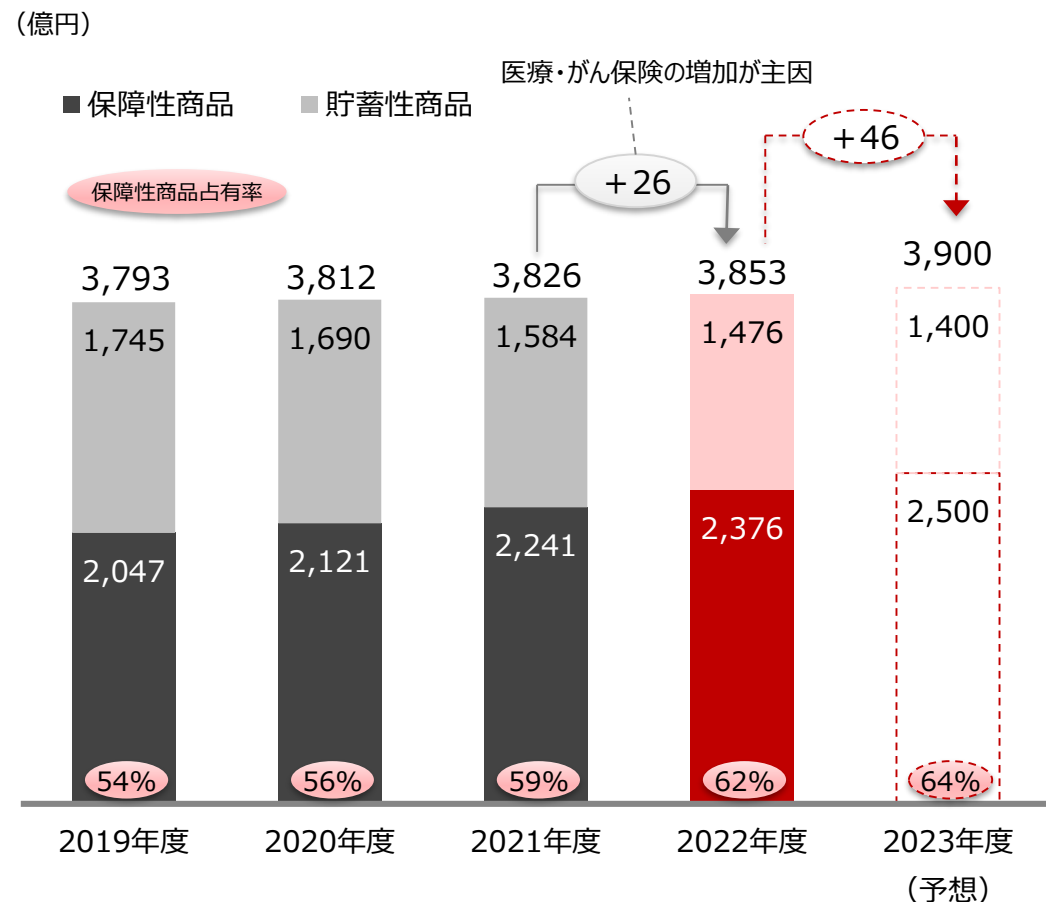
# 新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料

- Insurhealth®※商品の販売好調により、2022年度の年換算保険料は着実に増加
- 2023年度は、Insurhealth®変額保険の発売を起点として、新契約年換算保険料+82億円増収とさらなる規模拡大を図る

## 新契約年換算保険料



## 保有契約年換算保険料

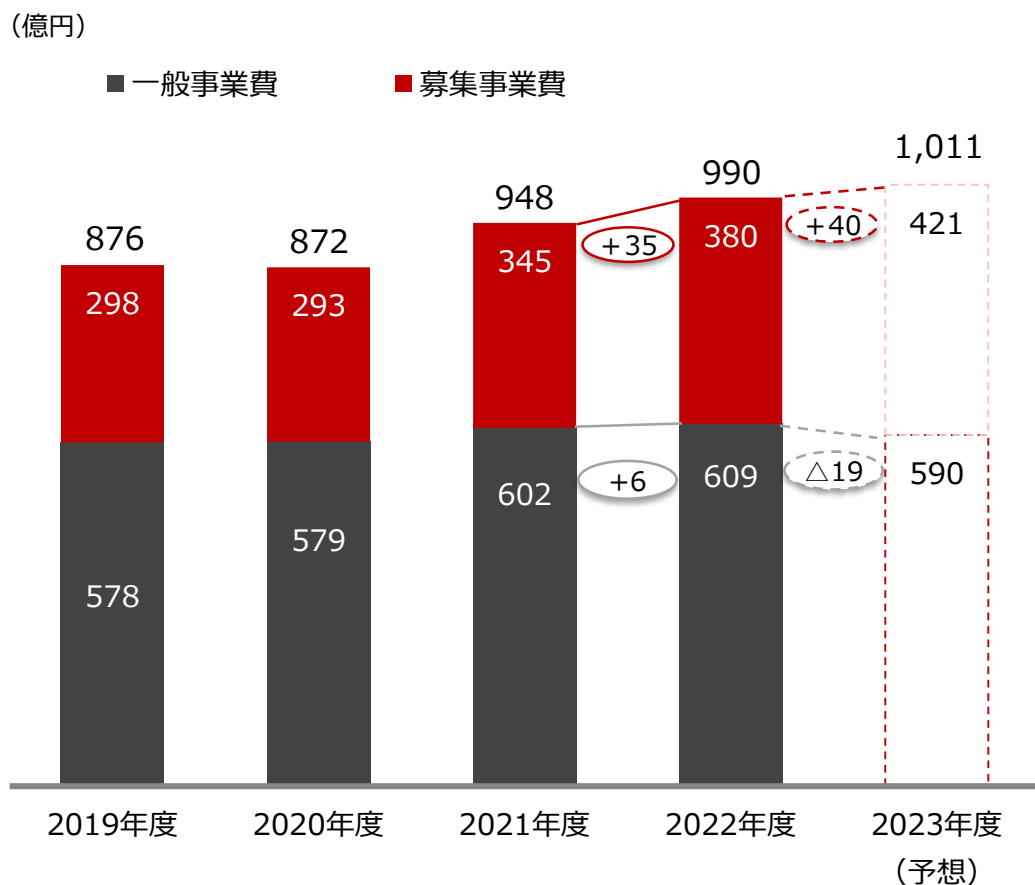


※ 保険本来の保障機能（Insurance）に健康を応援する機能（Healthcare）を組み合わせ新たな価値を提供する商品

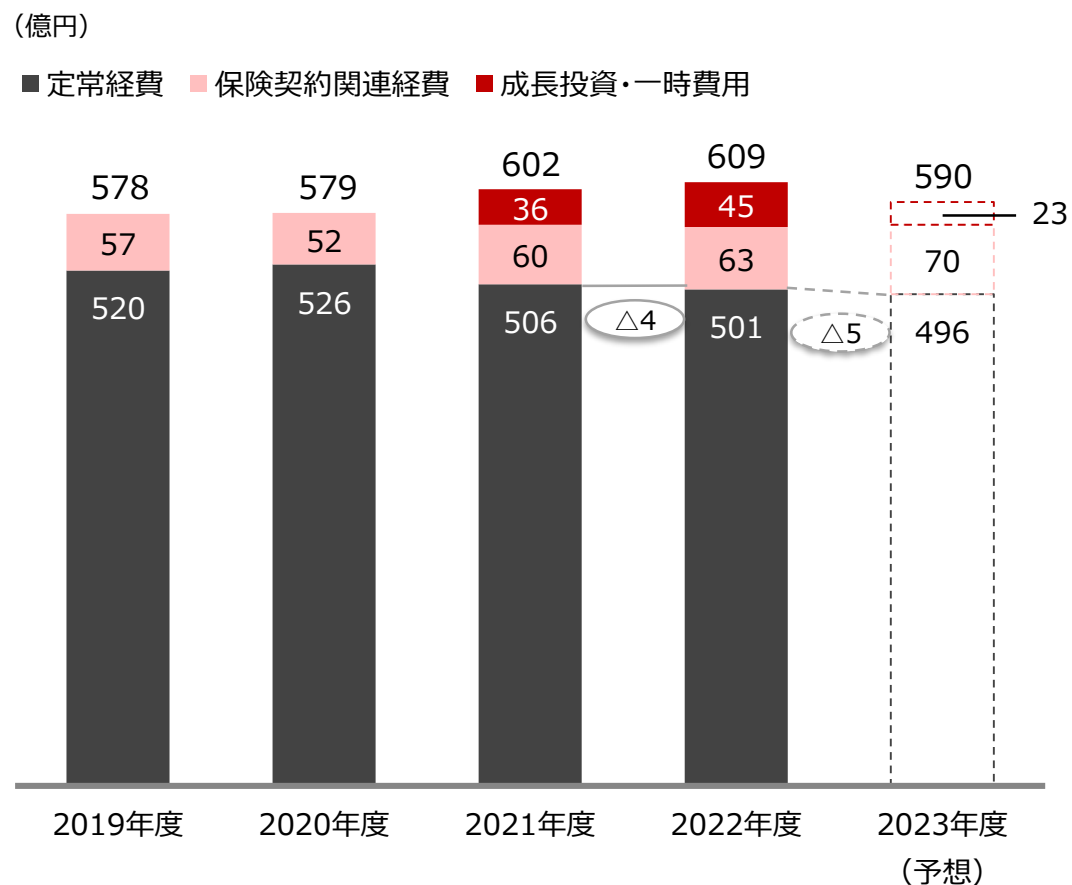


- 新契約の拡大に伴う募集事業費増加の一方で、定常経費は適切にコントロール
- 2023年度も引き続き、定常経費の低減を含む一般事業費全体の適正なコントロールを実施

## 事業費の推移



## 一般事業費の推移



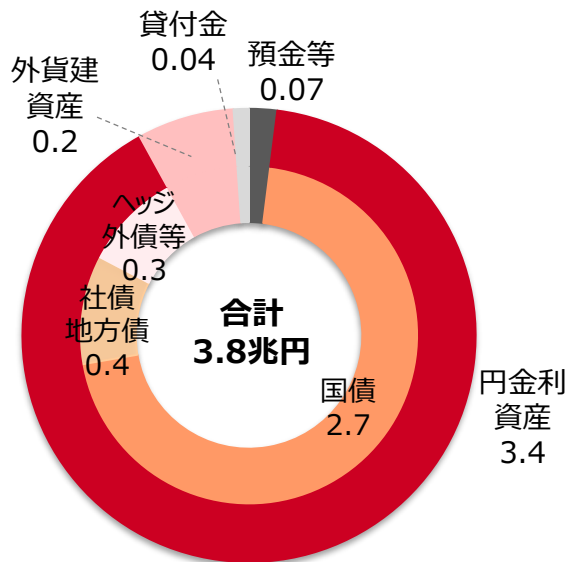


# 資産ポートフォリオ・資産運用損益

- 超長期債の投入拡大と国内金利上昇により、デュレーションギャップは縮小
- 2023年度の資産運用損益は、ヘッジコスト上昇の影響を好調な利配収入で一部オフセット

## 資産ポートフォリオ（2023年3月末、一般勘定）

(兆円)

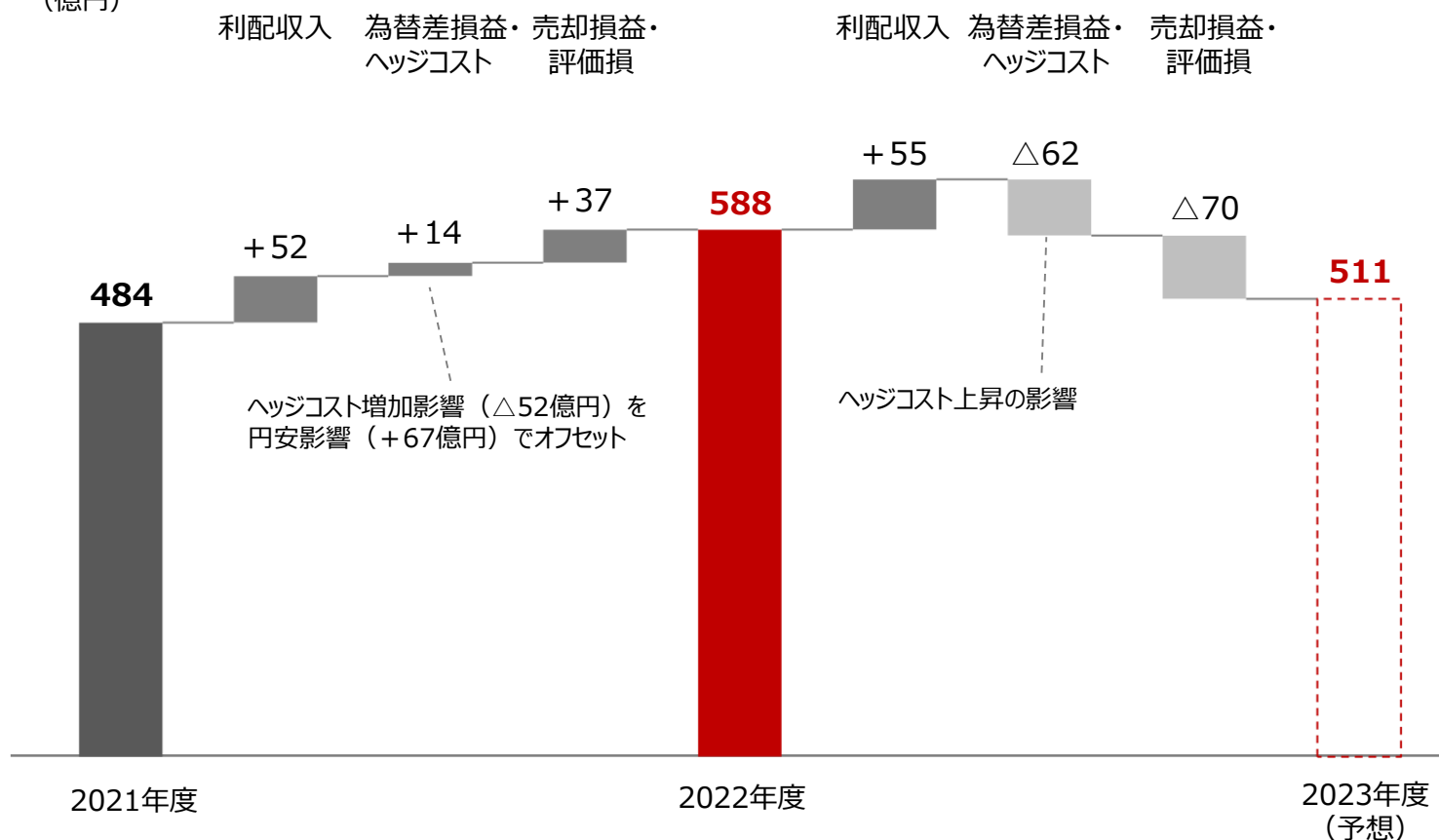


	2022年 3月末	2023年 3月末
インカム利回り	1.5%	1.5%
資産	16年	17年
デュレーション	24年	20年
差	8年	3年

(参考) 債券資産の格付構成：BB格以下の保有なし

## 資産運用損益（一般勘定）の増減要因

(億円)



# (参考) 決算数値

概要			事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



(億円)	2021年度	2022年度	増減		2023年度 (予想)
新契約年換算保険料	319	332	+13	(+4.1%)	415
保険料等収入※1	4,368	4,344	△24	(△0.6%)	4,398
責任準備金繰入等※2	2,786	2,701	△85	(△3.1%)	2,670
保険金等支払	803	1,134	+330	(+41.1%)	890
事業費	948	990	+42	(+4.4%)	1,011
資産運用損益	502	603	+100	(+20.0%)	525
(うち一般勘定)	484	588	+104	(+21.5%)	511
基礎利益※3	280	△18	△298	(△106.5%)	323
経常利益※1	264	63	△201	(△76.1%)	263
当期純利益	159	9	△149	(△94.1%)	153
(参考)					
修正利益					
資本性準備金繰入額	+7	+13	+5	(+68.2%)	+14
責任準備金補正	+147	+138	△9	(△6.2%)	+147
繰延新契約費	+243	+267	+24	(+10.1%)	+298
新契約費償却等	△233	△235	△1	(△0.8%)	△249
有価証券売却損益・評価損	+11	△15	△26	(△230.3%)	+36
修正利益	336	178	△157	(△46.9%)	400

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

※3 ヘッジコストを含む

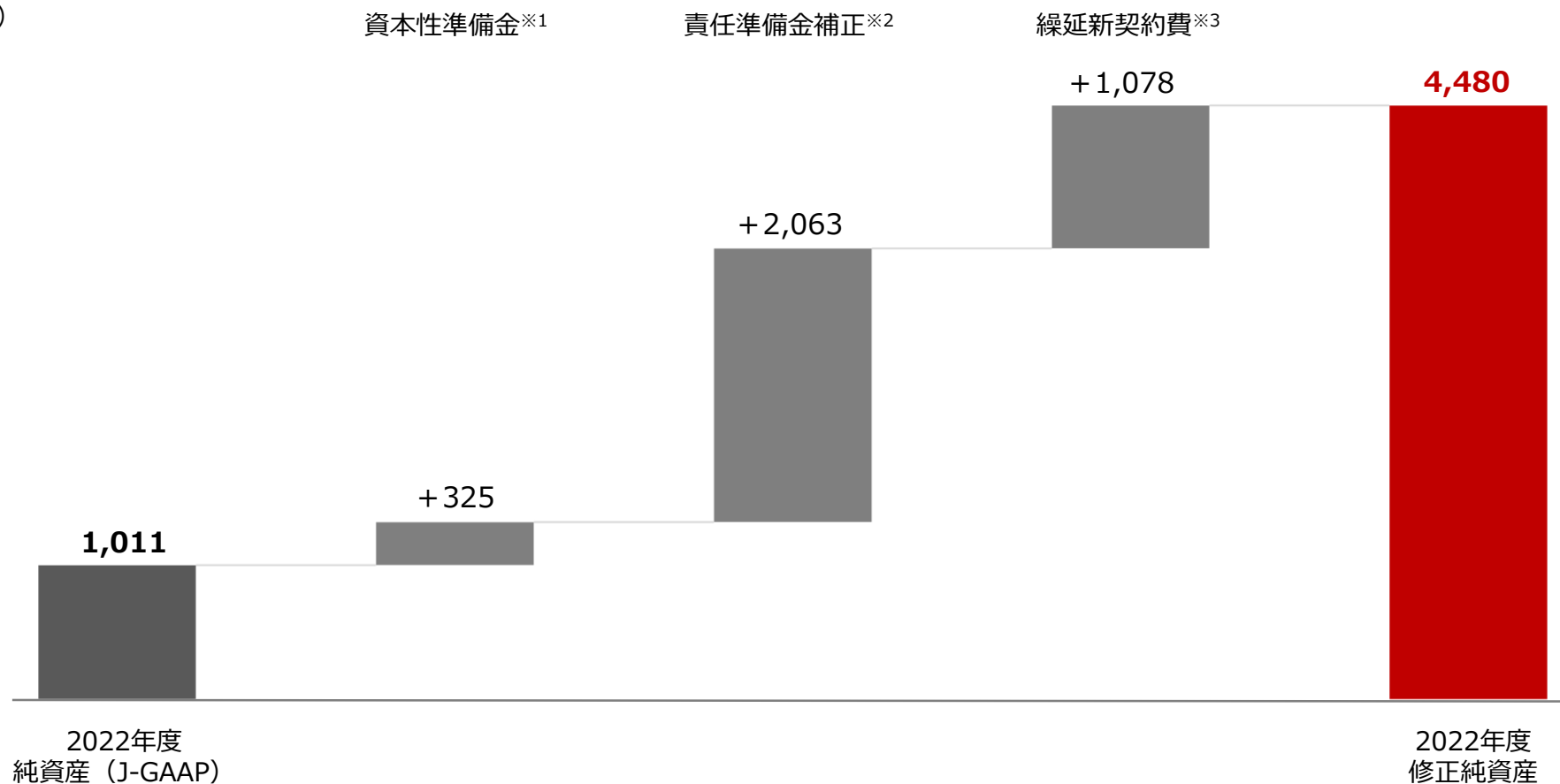
# (参考) 修正純資産のコンバージョン

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 修正純資産のコンバージョン

(億円)



※1 危険準備金、価格変動準備金 (税後)

※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算 (税後)

※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却 (税後)

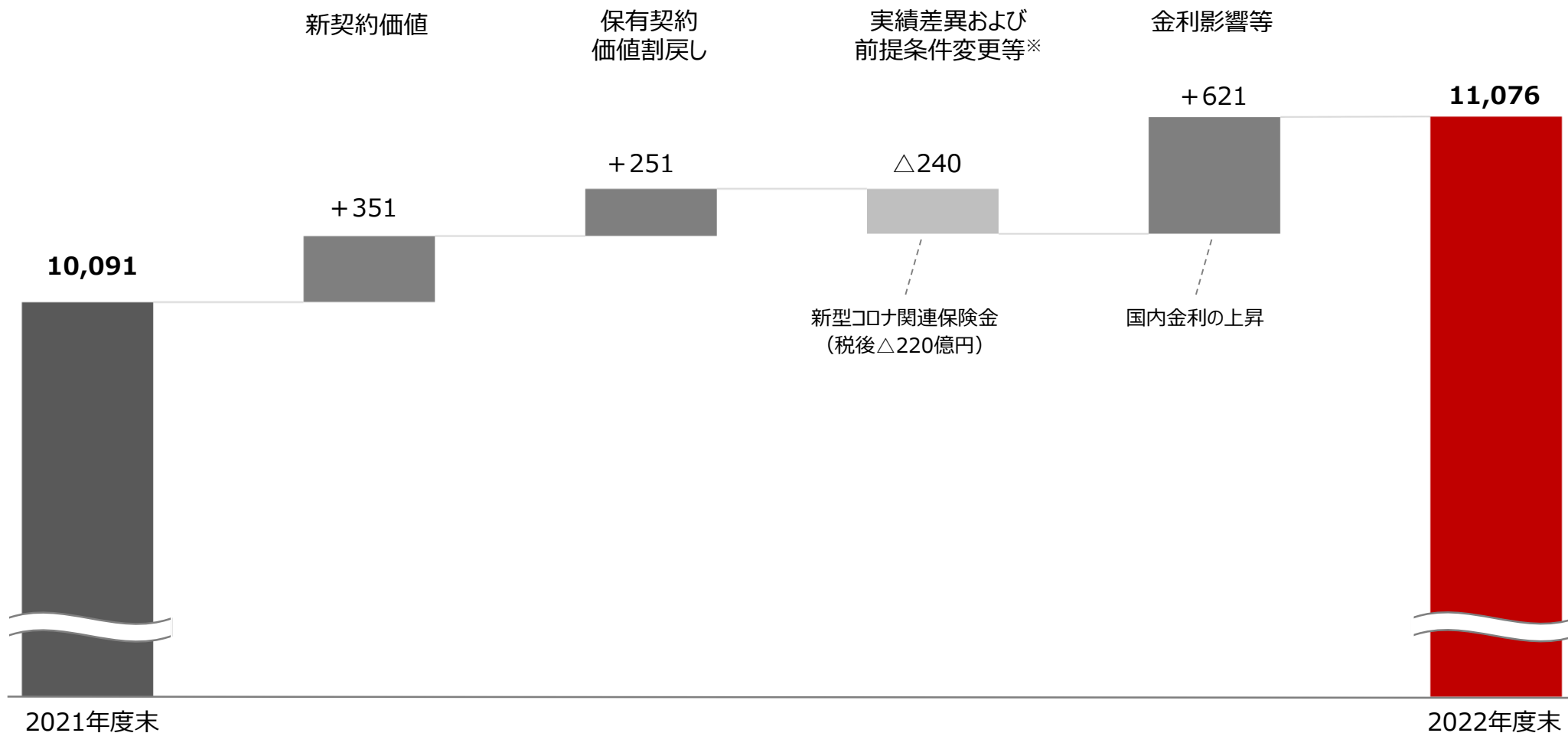
# (参考) MCEV

概要		事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア
				ERM



## MCEVの増減要因

(億円)



※ 解約率の前提条件変更等

# 事業別詳細

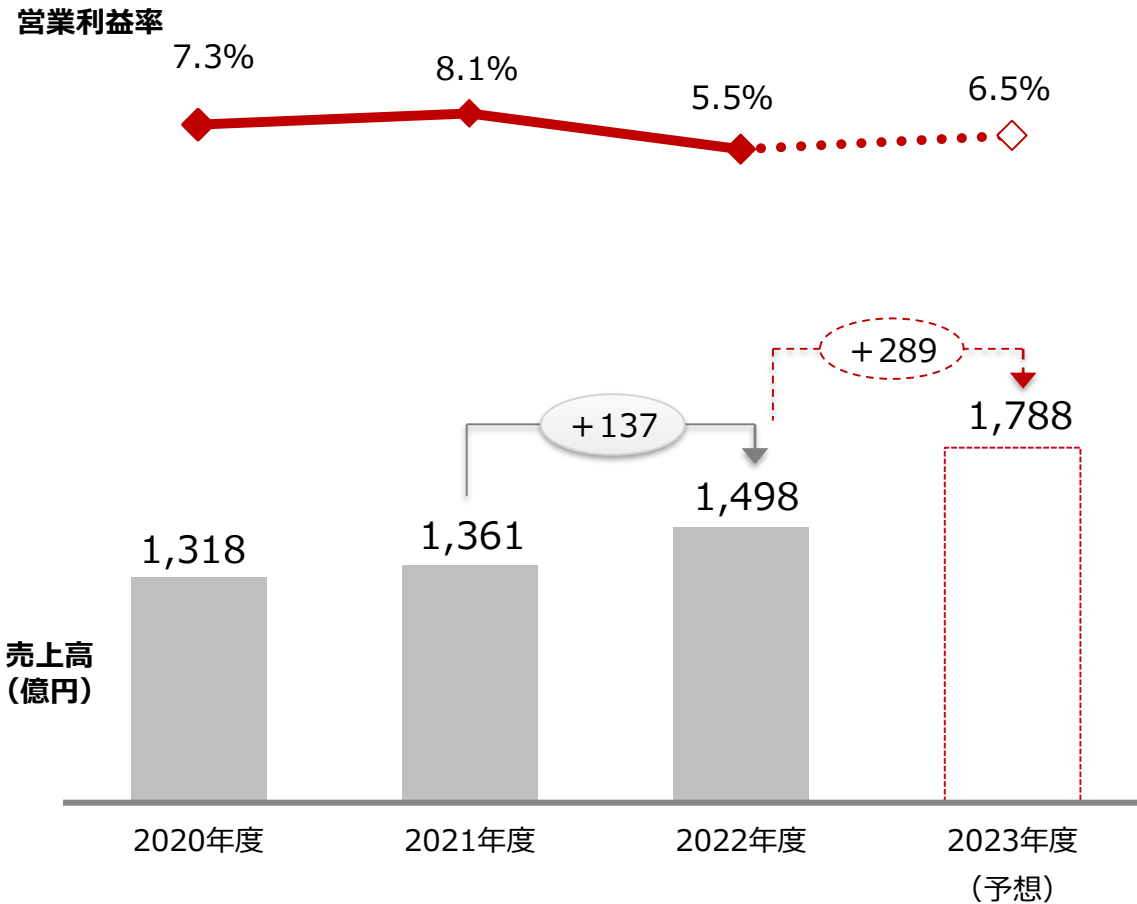
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	15
海外保険事業	29
国内生保事業	38
<b>介護・シニア事業</b>	<b>45</b>
ERM	48



# 売上高・営業利益率・修正利益

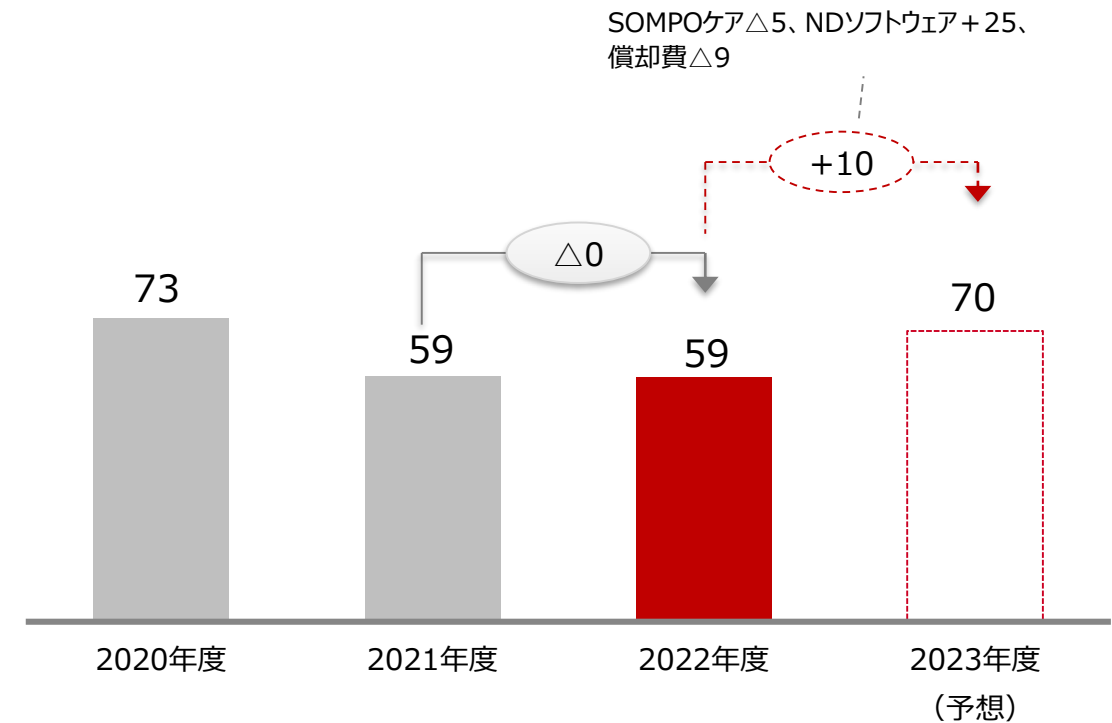
- 2022年度の売上高は、入居率改善等の影響により+137億円の増収
- 2023年度は、NDソフトウェア社の買収や入居率改善等の影響により+289億円の増収、修正利益は+10億円増益を見込む

## 介護・シニア事業の売上高・営業利益率の推移



## 介護・シニア事業の修正利益の推移

(億円)

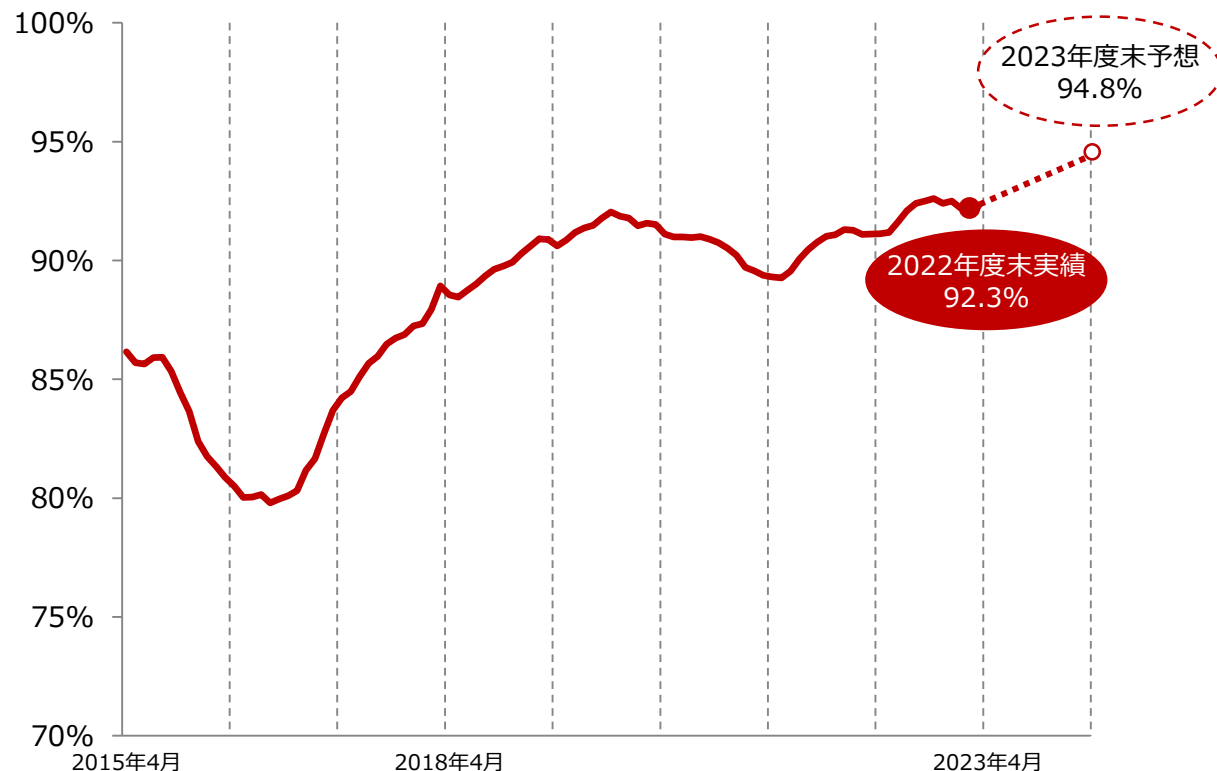


# (参考) 入居率・事業所数

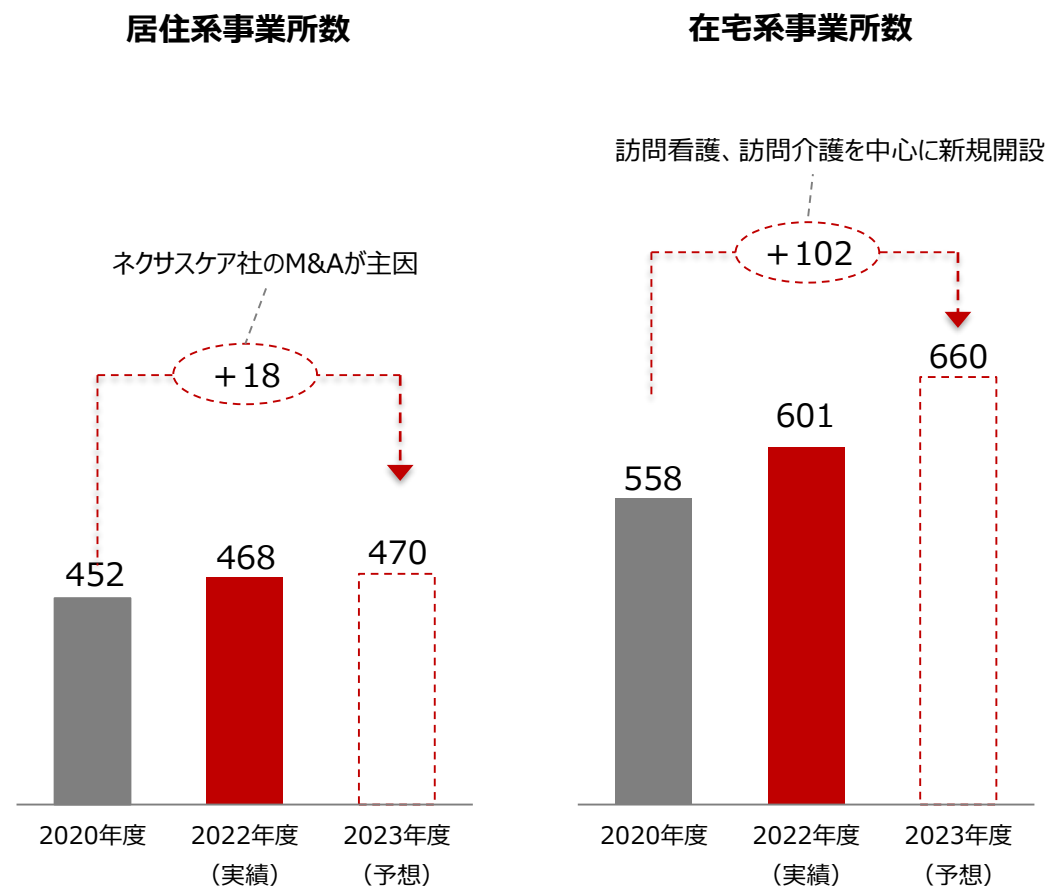
概要			事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 入居率<sup>※1※2</sup>の推移 (SOMPOケア)



## 事業所数<sup>※3</sup>の推移 (SOMPOケア)



※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数

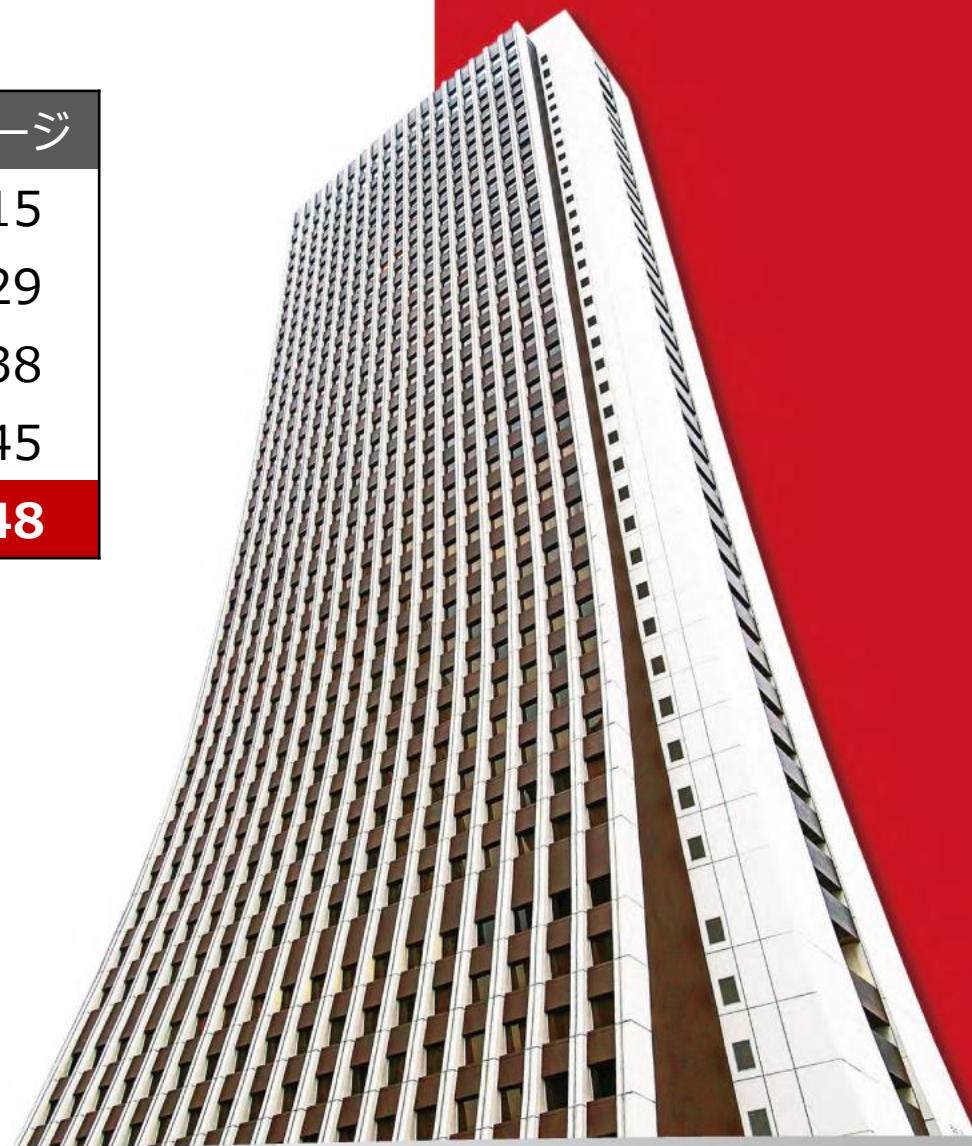
※2 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

※3 新規開設数およびM&Aから廃止した事業所数を除いた数



# 事業別詳細

タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	15
海外保険事業	29
国内生保事業	38
介護・シニア事業	45
<b>ERM</b>	<b>48</b>

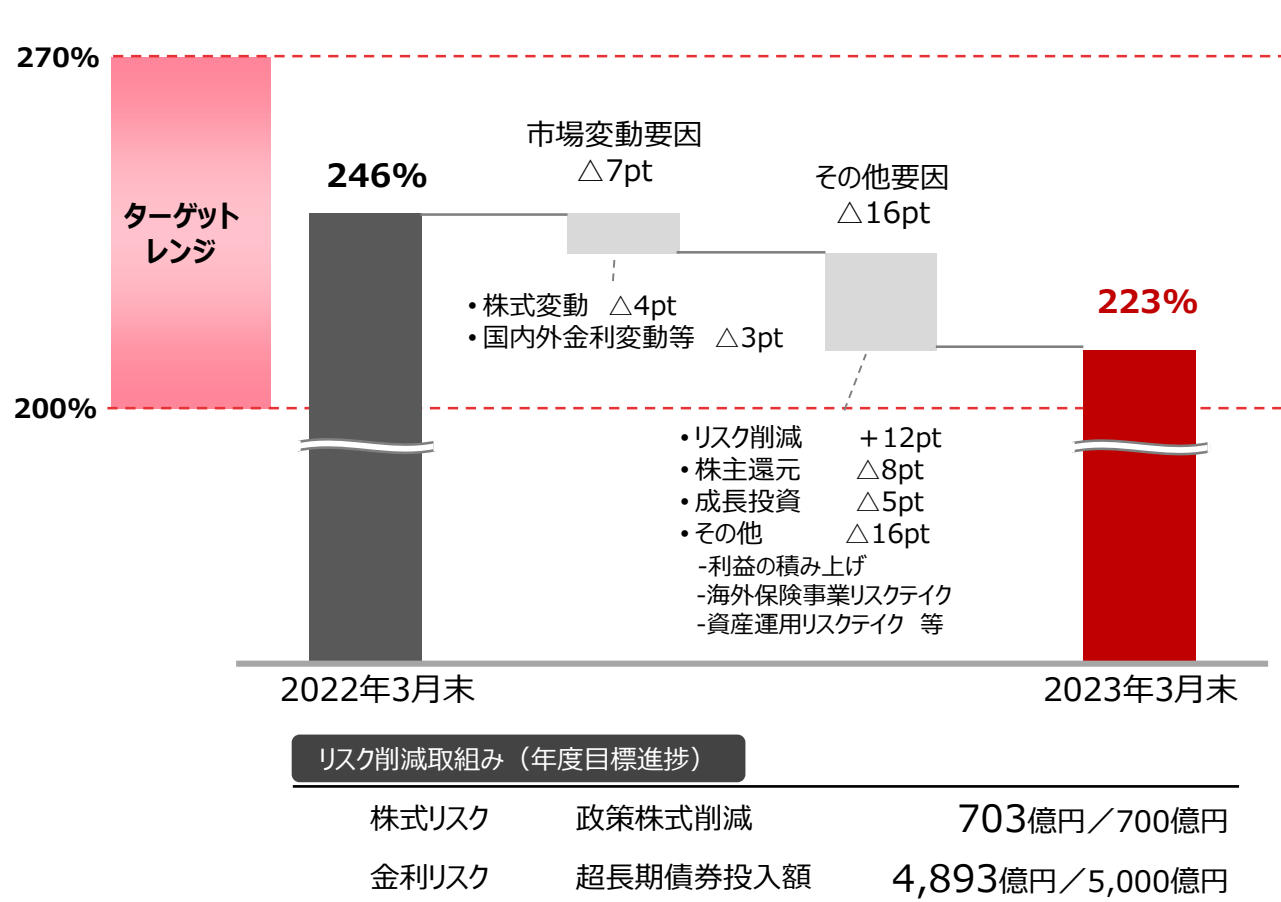




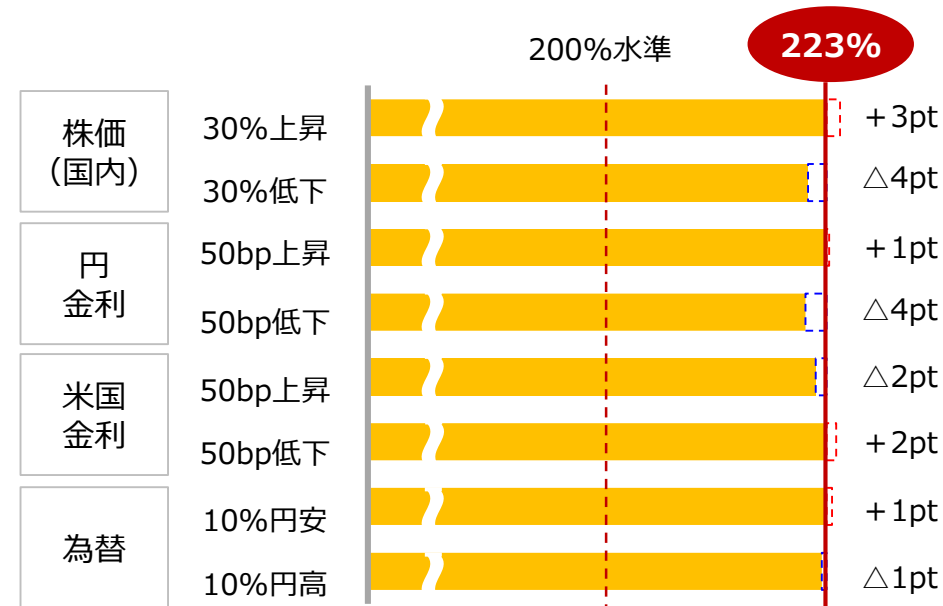
# ESR (99.5%VaR)

- 海外保険事業の拡大や金融マーケット変動の影響を受けたが、2023年3月末のESRは223%とターゲットレンジ内
- 超長期債購入に伴う金利リスク削減により、円金利50bp上昇・下落時の感応度は、2022年3月末比で9pt縮小

## ESR (99.5%VaR) ※1の推移



## ESR (99.5%VaR) の感応度分析 (2023年3月末時点)



(参考) 市場環境	2023年3月末	(増減※2)
国内株価 (TOPIX)	2,003.50	(+ 2.9%)
国内金利 (30年国債利回り)	1.30%	(+ 39bp)
米国金利 (10年国債利回り)	3.47%	(+ 113bp)
為替 (米ドル円レート)	133.53円	(+ 9.1%)

※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

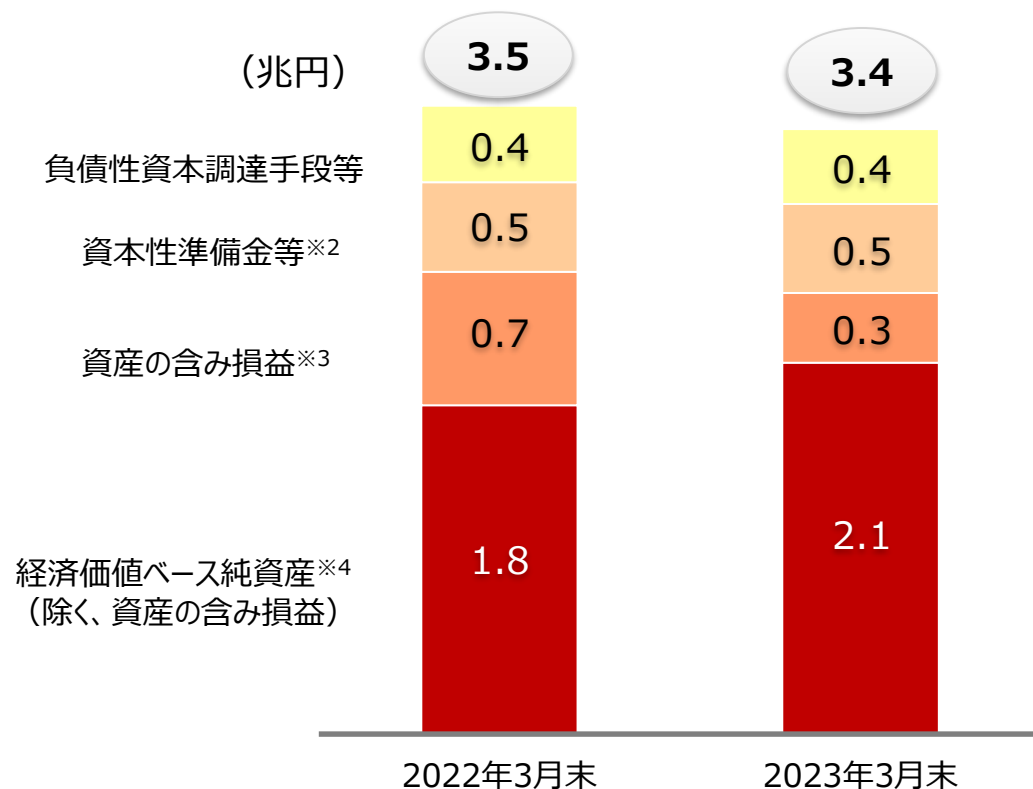
※2 2022年3月末対比

# (参考) 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

概要			事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM

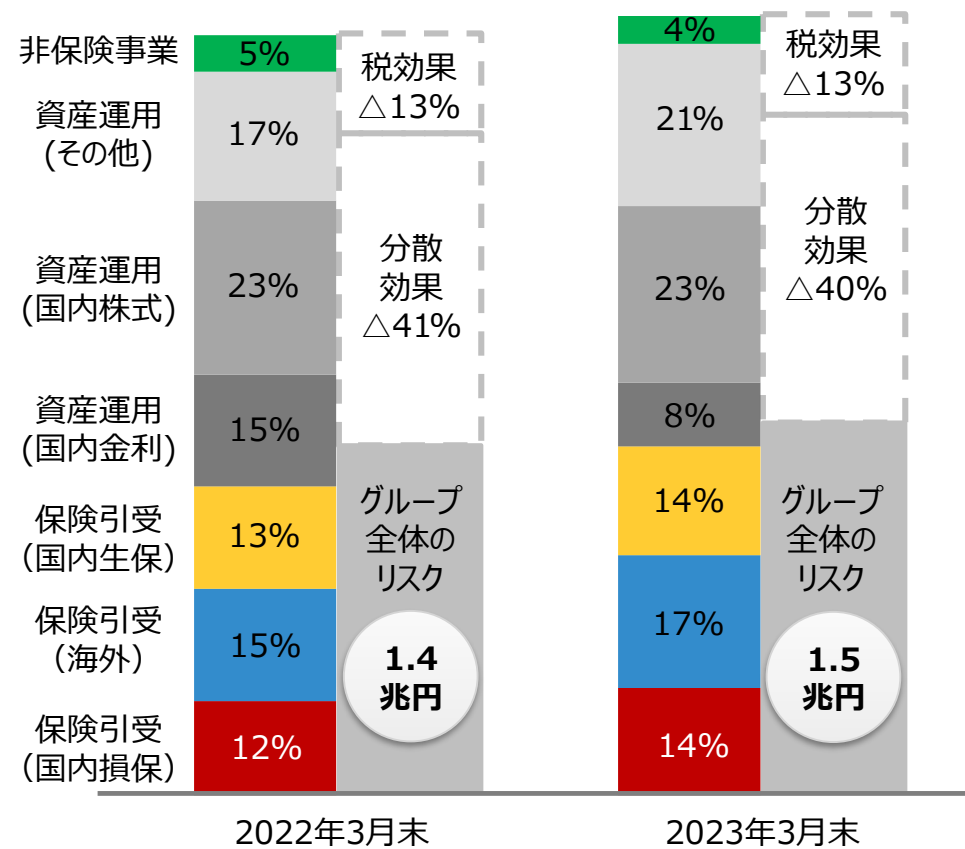


## 実質自己資本※1



- ※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等 + 時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等
- ※2 価格変動準備金、異常危険準備金等 (税引後)
- ※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益
- ※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値等を加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

## リスク量※5



- ※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測
- リスク要因毎のリスク量：リスク要因間の分散効果等控除前 (税引前)
- グループ全体のリスク：リスク要因毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

# (参考) 経営数値等

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



## 経営数値等

(単位：億円)	2021年度		2022年度		2023年度	
	(実績)	(事業別ROE) ※4	(実績)	(事業別ROE) ※4	(予想)	(事業別ROE) ※4
国内損保事業	1,574	11.7%	320	2.2%	800	5.4%
海外保険事業	618	7.1%	933	9.5%	1,500	12.3%
国内生保事業	336	4.5%	178	2.6%	400	6.2%
介護・シニア事業	59	10.7%	59	10.2%	70	5.3%
デジタル事業等	24	-	30	-	20	-
<b>合計 (修正連結利益)</b>	<b>2,613</b>	<b>-</b>	<b>1,522</b>	<b>-</b>	<b>2,800</b>	<b>-</b>
<b>修正連結ROE ※3</b>	<b>9.4%</b>	<b>-</b>	<b>5.5%</b>	<b>-</b>	<b>10%以上</b>	<b>-</b>
ROE (J-GAAPベース)	11.1%	-	4.7%	-	12.1%	-

## 修正連結利益※1の定義

<b>国内損保事業</b>	
当期純利益 + 異常危険準備金繰入額等 (税引後) + 価格変動準備金繰入額 (税引後) - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)	
<b>海外保険事業</b>	
Operating Income ※2 なお、持分法適用関連会社は、原則当期純利益	
<b>国内生保事業</b>	
当期純利益 + 危険準備金繰入額 (税引後) + 価格変動準備金繰入額 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 新契約費繰延 (税引後) - 新契約費償却 (税引後) - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)	
<b>介護・シニア事業</b>	<b>その他事業</b>
当期純利益	
<b>デジタル事業</b>	
当期純利益 - 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)	

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 一過性の変動要素を除いたOperating Income (= 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失等)

※3 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

※4 事業別ROE = 事業部門別修正利益 ÷ 各事業への配賦資本 (事業に属する会社の連結純資産合計またはリスクモデルに基づく必要資本。期首・期末の平均)

事業別ROEは、各事業特性を踏まえ異なる定義で各々設定しているため、事業間比較には適さず、各事業の進捗モニタリングを通じて修正連結ROEおよび各事業別ROE目標値の達成確度を高めることを目的に導入

## 将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 【お問い合わせ先】



**SOMPOホールディングス株式会社**

#### **I R 室**

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>